

# 柳川市次世代育成支援行動計画策定に係るニーズ調査

## 報 告 書

平成21年8月

柳 川 市

# 目 次

第1章 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 留意事項	2
第2章 調査結果	3
1. 調査対象児童の属性等について	3
(1) 調査対象児童の年齢・学年の構成	3
(2) 子どもの人数、末子の年齢	4
(3) 両親・祖父母の同居、近居の状況	5
(4) 親族等からの支援の状況	5
(5) 「お子さん」の身の回りの世話人	7
(6) 居住地	7
2. 保護者の就労について	8
(1) 両親の就労状況	8
(2) 母親の就労希望	14
(3) 就労していない理由	16
(4) 就労を希望する時期	17
(5) 出産前後の離職状況	18
3. 保育サービスの利用について	19
(1) 保育サービスの利用状況	19
(2) 保育サービスの利用意向	24
(3) 土・日・祝日の保育サービスの利用希望	29
4. 放課後児童クラブの利用について	31
(1) 放課後児童クラブの利用状況	31
(2) 土曜日の放課後児童クラブの利用状況	34
(3) 放課後児童クラブの利用意向	35
(4) 放課後子ども教室の利用意向	37
(5) 小学4年生以降における放課後の過ごし方に対する希望	38
(6) 小学校入学時の放課後児童クラブ利用意向・利用日数	39
5. 病児・病後児保育の利用について	40
(1) 病気等により保育所や学校を休まなければならなかったこと	40
6. 一時預かりの利用について	42
(1) 子どもの一時的な預け入れの有無・日数	42
(2) 一時預かりサービスの利用意向	44
7. 宿泊を伴う一時預かりの利用について	45
(1) 宿泊を伴う子どもの預け入れの有無・泊数	45
8. ベビーシッターの利用について	47
(1) ベビーシッターの利用状況・今後の利用意向	47
9. ファミリーサポートセンターの利用意向について	48
(1) ファミリーサポートセンターの認知状況	48
(2) ファミリーサポートセンターの利用意向	49
10. 育児休業制度の利用について	50
(1) 育児休業制度の利用状況	50
(2) 育児休業制度利用後の復帰状況について	51
11. 子育て支援サービスについて	53
(1) 子育て支援サービスの認知状況	53
(2) 子育て支援サービスの利用状況	54
(3) 子育て支援サービスの利用意向	55
(4) 地域子育て支援センター等の利用状況	56
(5) 地域子育て支援センター等の利用意向	57
12. 子育ての悩みや相談について	58
(1) 子育ては楽しいかどうか	58

(2) 子育てに対して不安感や負担感を感じるかどうか.....	59
(3) 子育てに関する悩み.....	60
(4) 仕事と子育ての両立において、大変だと感じること.....	61
(5) 子育てについての相談相手.....	62
(6) 専門的な相談先.....	63
(7) 子育てについての情報入手先.....	64
13. 子どもの居場所について.....	65
(1) 平日の放課後の日常的な過ごし方.....	65
(2) 望ましい交流の場.....	65
(3) 子どもの地域活動への参加状況.....	66
(4) 参加したことがある、参加させたい地域活動等.....	66
14. 子育てサークル等への参加について.....	67
(1) 子育てサークル等への参加状況.....	67
(2) 行政に行ってほしい支援.....	68
15. その他、子育て支援全般について.....	69
(1) 子育て支援として、身近な地域の人に望むこと.....	69
(2) 子育てと仕事の両立支援のため企業等に望むこと.....	70
(3) 子育て支援に関する施策への希望.....	71
<b>調 査 票.....</b>	<b>73</b>

# 第 1 章 調査概要

## 1. 調査の目的

国において平成 15 年 7 月に「次世代育成支援対策推進法」が制定され、本市においては、次世代育成のための具体的な「行動計画」を策定し、平成 17 年度から実施してきたが、国の新たな計画策定指針が示され、それに沿って「後期・行動計画」を策定することになった。

そこで、実行性のある計画を策定するべく、就学前の子どもを持っている保護者の保育サービスの利用状況や認知度・今後の意向、子どもの保育状況など日常生活におけるさまざまな事項を把握し、「柳川市次世代育成支援対策行動計画（後期計画）」に反映させるため、本アンケートを実施した。

## 2. 調査の方法

- 調査対象者 : 柳川市在住の就学前児童・小学校児童の保護者  
配布・回収方法 : 住民基本台帳から対象者を無作為抽出し、郵送により配布回収  
調査方法 : 質問紙による自記入式  
調査期間 : 平成 21 年 2 月 12 日～2 月 28 日

配布・回収の状況

	配布数	回収数	回収率
就学前児童用	1, 0 0 0	5 0 0	5 0 . 0 %
小学校児童用	1, 0 0 0	4 7 8	4 7 . 8 %

### 3. 留意事項

- ①単数回答の集計については、設問ごとに不明の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を100%としている。なお、回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- ②複数回答の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。
- ③数表、図表、文中に示すN、nは、回答率算出上の基数（標本数）である。  
N＝標本全数  
n＝該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- ④数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。
- ⑤文中の選択肢の表記は「」で行い、選択肢のうち、二つ以上のものを合計して表す場合は『』で表記している。
- ⑥2つ以上の選択肢を合計して表す率については、各選択肢の回答者数の合計をもとに算出しているため、選択肢個々の回答率の合計とは、必ずしも同じにならない場合がある。
- ⑦クロス集計の表側に使用している「性別」「年齢」「居住地区」等の基本属性は、回答が不明の者が含まれているが、図表中にはこれらの不明の者の回答率を表記していないものもある。また、副問（サブクエスチョン）等の回答者が限定される質問もある。このため、図表中の表側項目の回答数を合計しても、調査の有効回答数にならない場合がある。

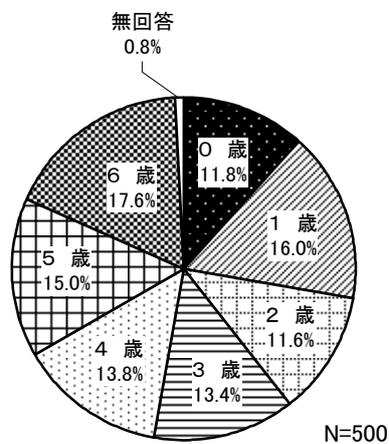
## 第2章 調査結果

# 1. 調査対象児童の属性等について

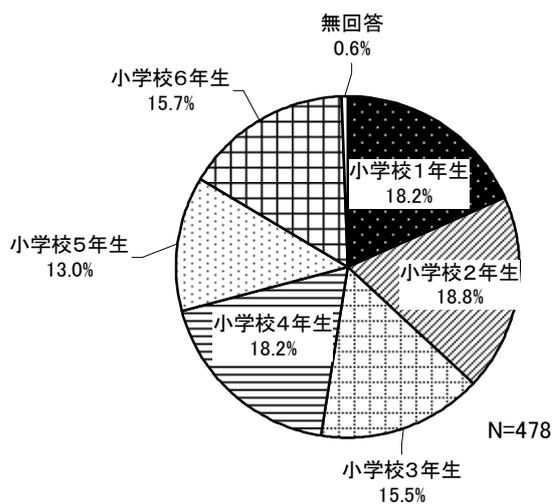
## (1) 調査対象児童の年齢・学年の構成

調査対象児童の年齢・学年の構成は、就学前児童、小学校児童それぞれ以下に示すとおりである。

<調査対象児童の年齢（就学前児童）>



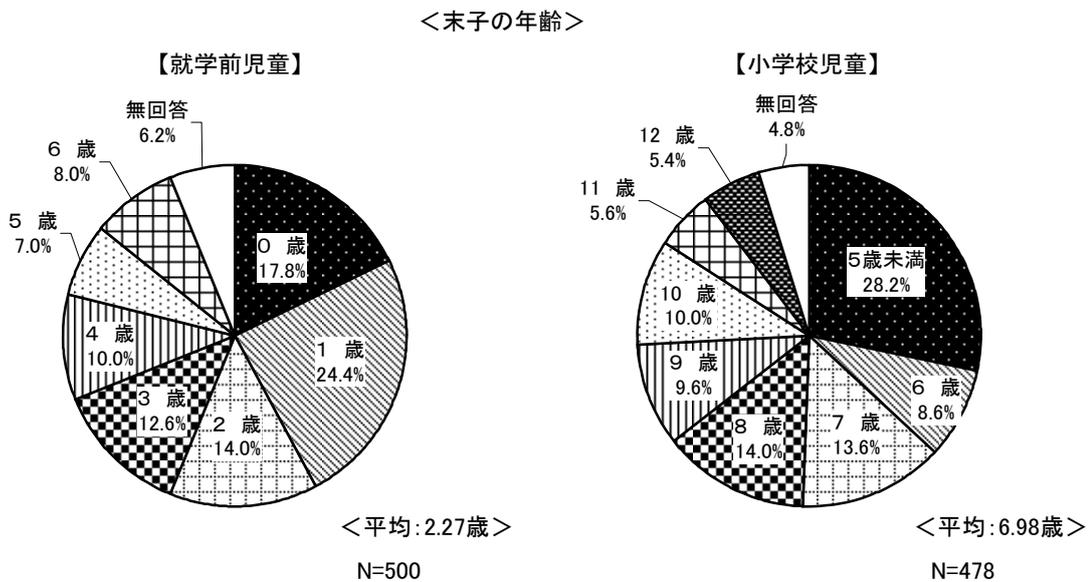
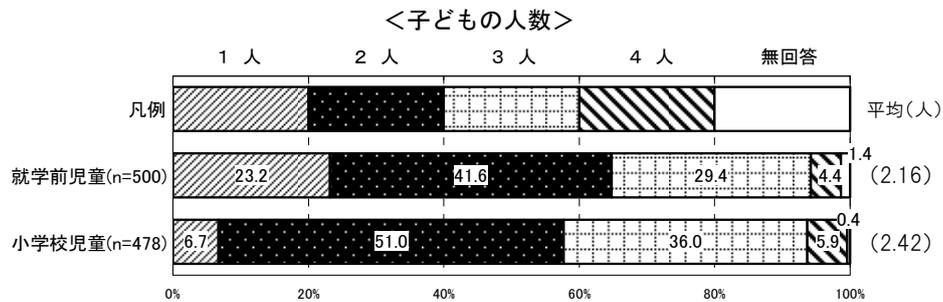
<調査対象児童の学年（小学校児童）>



## (2) 子どもの人数、末子の年齢

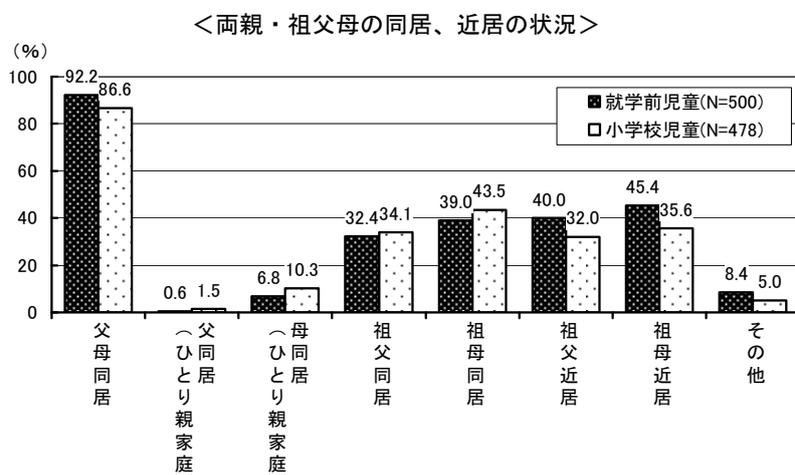
子どもの人数をみると、いずれも「2人」が最も多くなっている。平均人数をみると、就学前児童は2.16人、小学校児童は2.42人となっている。

末子の年齢をみると、就学前児童は「1歳」(24.4%)が最も多く、次いで「0歳」(17.8%)の順となっており、平均年齢は2.27歳となっている。一方、小学校児童は「5歳未満」は28.2%で、6歳以上では「8歳」(14.0%)が最も多く、次いで「7歳」(13.6%)の順となっている。なお、平均年齢は6.98歳となっている。



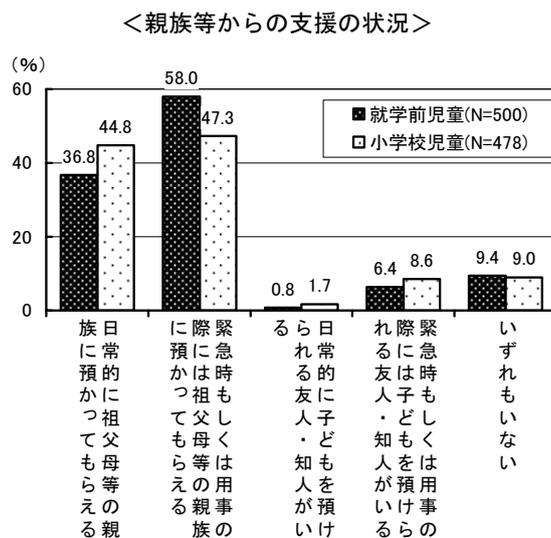
### (3) 両親・祖父母の同居、近居の状況

両親・祖父母との同居・近居の状況をみると、「父母同居」がいずれも突出しており、9割程度となっている。なお、「父同居（ひとり親家庭）」、「母同居（ひとり親家庭）」を合わせた『ひとり親家庭』は、就学前児童が7.4%、小学校児童は11.8%となっている。

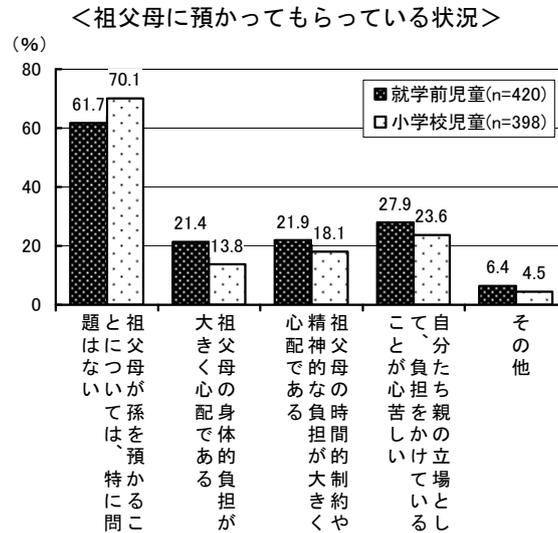


### (4) 親族等からの支援の状況

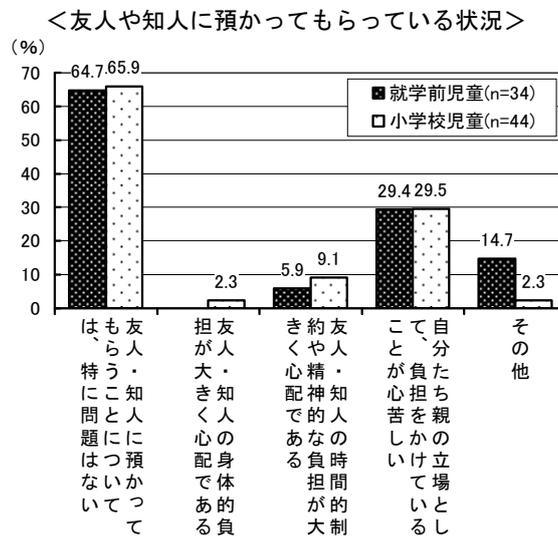
親族等からの支援の状況をみると、いずれも「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が最も高いものの、割合は就学前児童（58.0%）の方が小学校児童（47.3%）よりも上回っている。次いで高いのは「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」で、こちらは就学前児童（36.8%）よりも小学校児童（44.8%）の方が高い。なお、「いずれもない」はいずれも1割未満となっている。



「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」または「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」と答えた人に、祖父母に預かってもらっている状況を尋ねたところ、いずれも「祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない」が最も高くなっている。

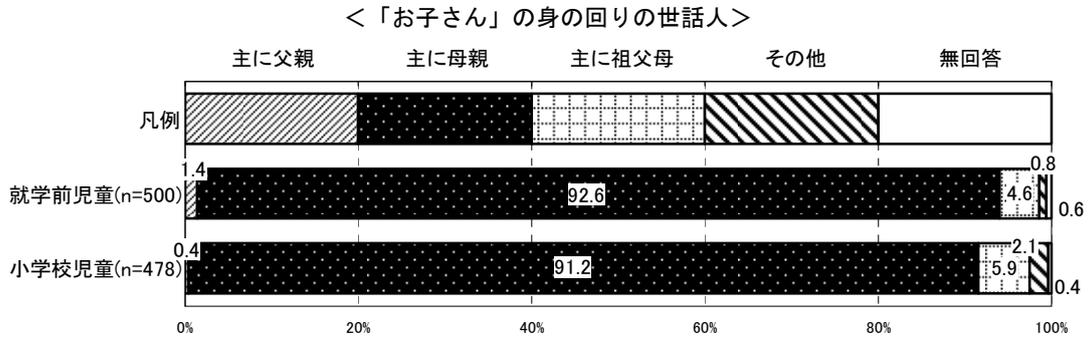


「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際に子どもを預けられる友人・知人がいる」と答えた人に、友人や知人に預かってもらっている状況を尋ねたところ、いずれも「友人・知人に預かってもらうことについては特に問題はない」が最も高くなっている。



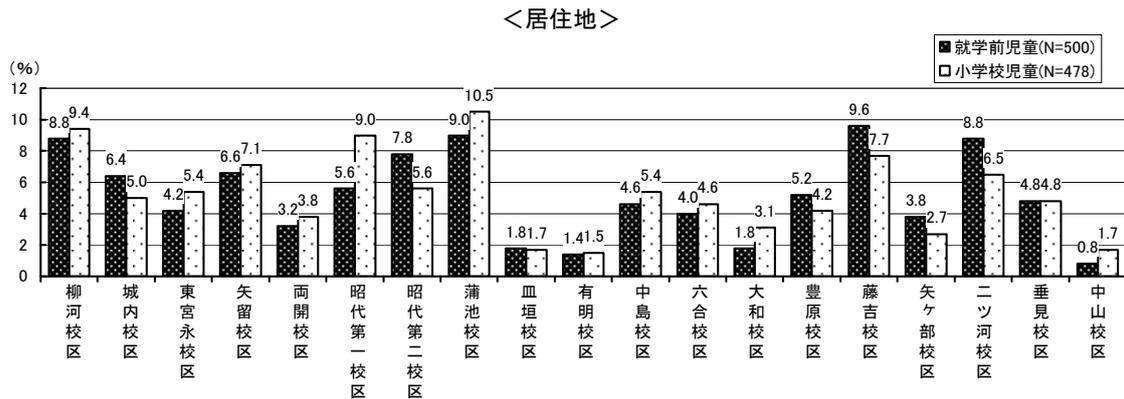
(5) 「お子さん」の身の回りの世話人

想定される子どもの身の回りの世話をしている人を見ると、いずれも「主に母親」が9割以上を占め、主流となっている。



(6) 居住地

対象者児童の居住地の分布は、就学前児童、小学校児童それぞれ以下に示すとおりである。

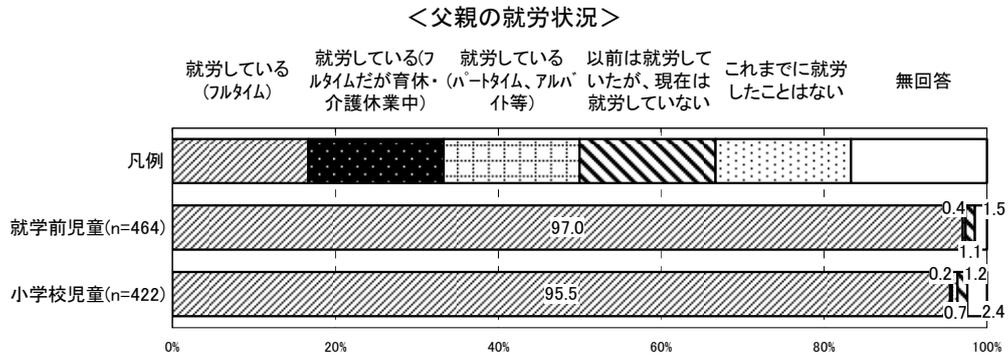


## 2. 保護者の就労について

### (1) 両親の就労状況

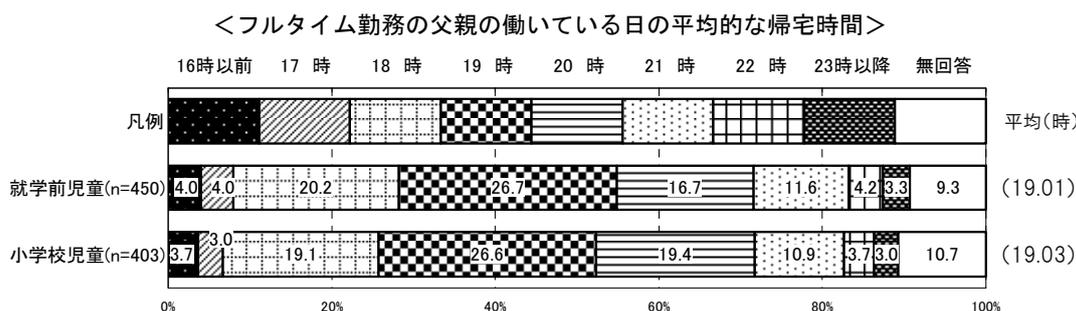
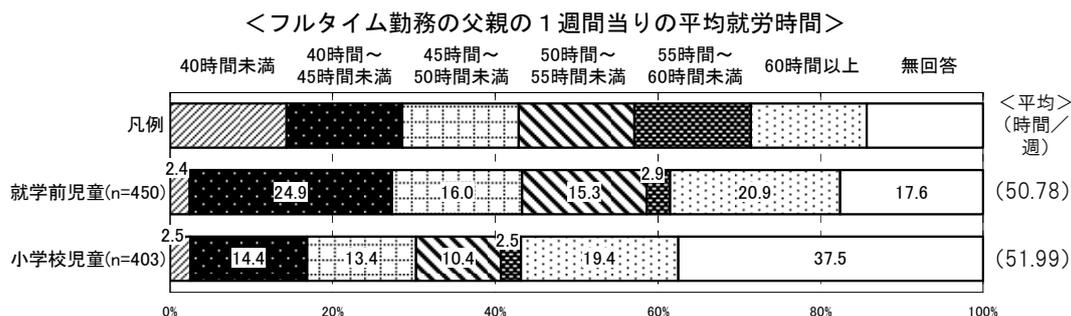
#### ① 父親の就労状況

父親の就労状況を見ると、「就労している（フルタイム）」がいずれも9割以上を占めている。なお、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と答えた人が就学前児童は1.1%、小学校児童は1.2%みられる。



就労している（フルタイム）」と回答した父親の1週間当りの平均就労時間をみると、就学前児童は「40時間～45時間未満」（24.9%）が最も高く、次いで「60時間以上」（20.9%）の順となっている。一方、小学校児童は「60時間以上」（19.4%）が最も高く、次いで「40時間～45時間未満」（14.4%）、「45時間～50時間未満」（13.4%）の順となっている。なお、平均就労時間をみると、就学前児童は50.78時間、小学校児童は51.99時間で、いずれも同程度となっている。

働いている日の平均的な帰宅時間をみると、就学前児童は「19時台」（26.7%）が最も高く、次いで「18時台」（20.2%）、「20時台」（16.7%）の順となっている。小学校児童も「19時台」（26.6%）が最も高く、次いで「20時台」（19.4%）、「18時台」（19.1%）の順となっている。平均帰宅時間をみると、就学前児童、小学校児童のいずれも19時頃で、同程度となっている。



「就労している（パートタイム、アルバイト等）」と回答した父親は件数が少ないため参考扱いとするが、1週間当りの平均就労日数、1日当りの平均就労時間は以下に示す表のとおりである。

なお、フルタイムへの転換希望については、いずれも「希望がある」、「希望があるが予定はない」と答えた人が1人ずつとなっている。

<パートタイム、アルバイト等勤務の父親の1週間当りの平均就労日数>

	サンプル数	平均（日／週）
就学前児童	1	5.00
小学校児童	3	5.67

<パートタイム、アルバイト等勤務の父親の1日当りの平均就労時間>

	サンプル数	平均（時間／日）
就学前児童	1	9.00
小学校児童	3	5.67

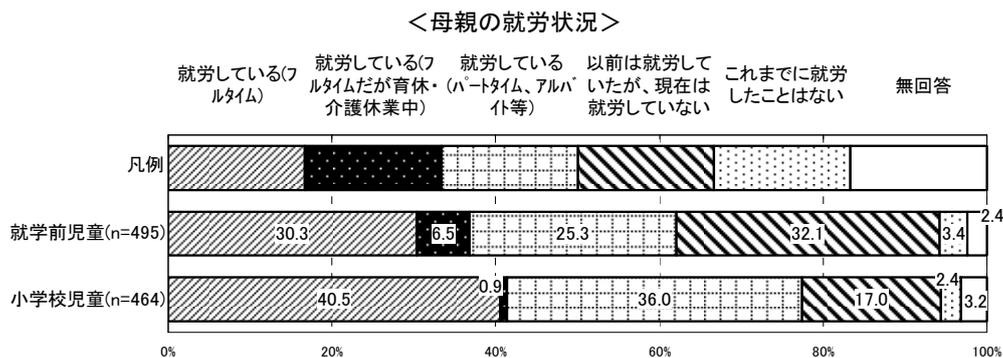
<パートタイム、アルバイト等勤務の父親のフルタイムへの転換希望>

単位：%

	サンプル数	希望がある	希望があるが予定はない	希望はない	無回答
就学前児童	2	50	50	-	-
小学校児童	3	33.3	33.3	-	33.3

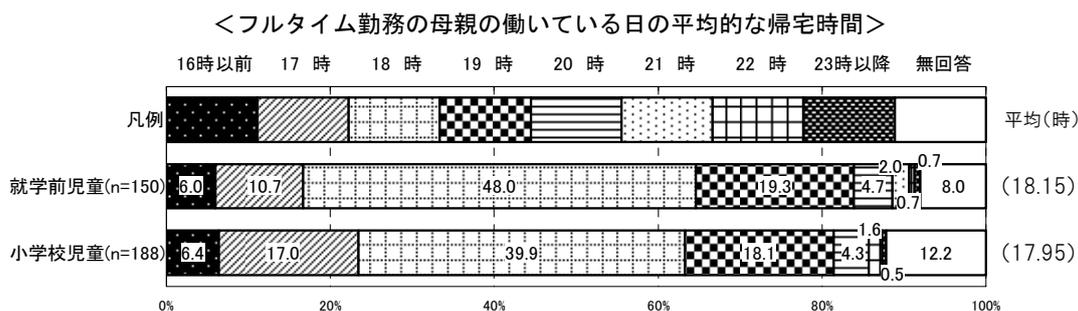
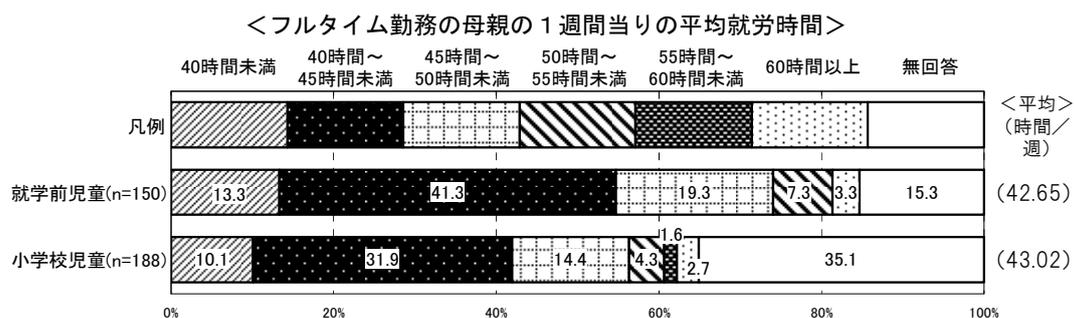
## ②母親の就労状況

母親の就労状況をみると、就学前児童では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と答えた人が最も多く、次いで「就労している（フルタイム）」の順となっており、小学校児童では、「就労している（フルタイム）」と答えた人が最も多く、次いで「就労している（パートタイム、アルバイト等）」の順となっている。なお、『就労している』母親の割合は就学前児童が62.1%、小学校児童は77.4%となっており、小学校児童の母親の方が約15ポイント上回っている。なお、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と答えた人は就学前児童が32.1%、小学校児童は17.0%みられ、こちらは就学前児童の方が15ポイント以上も上回っている。



就労している（フルタイム）と回答した母親の1週間当りの平均就労時間をみると、就学前児童は「40時間～45時間未満」（41.3%）が最も高く、次いで「45時間～50時間」（19.3%）、「40時間未満」（13.3%）の順となっている。小学校児童も「40時間～45時間未満」（31.9%）が最も高く、次いで「45時間～50時間」（14.4%）、「40時間未満」（10.1%）の順となっている。平均就労時間をみると、就学前児童は42.65時間、小学校児童は43.02時間で、小学校児童の方が若干長い。

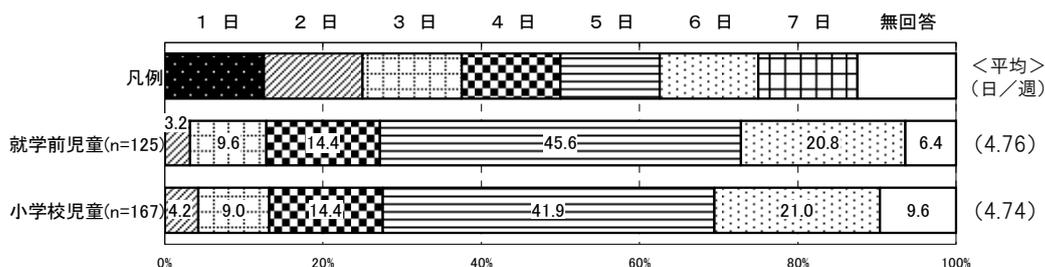
働いている日の平均的な帰宅時間は、いずれも「18時台」が最も高く、次いで「19時台」、「17時台」の順となっている。平均帰宅時間をみると、就学前児童、小学校児童のいずれも18時頃で、ほぼ同程度となっている。



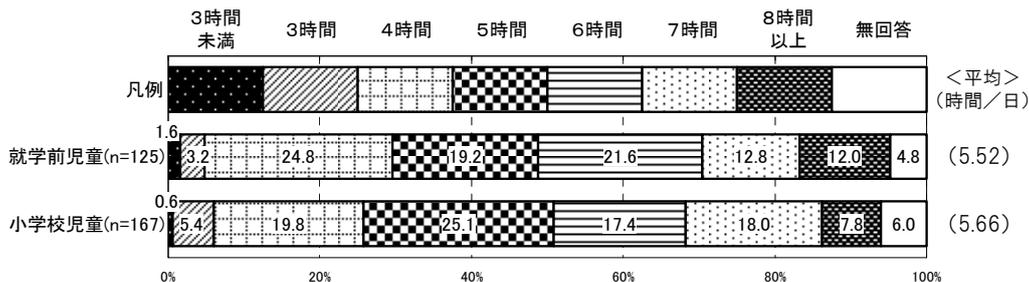
「就労している（パートタイム、アルバイト等）」と回答した母親の1週間当りの平均就労日数は、就学前児童が4.76日、小学校児童も4.74日と同程度となっている。また、1日当りの平均就労時間は、就学前児童が5.52時間、小学校児童は5.66時間と、こちらも同程度になっている。

なお、フルタイムへの転換希望を尋ねたところ、いずれも「希望はない」が最も高くなっている。なお、「希望がある」と答えた人は、就学前児童が11.2%、小学校児童は15.6%、「希望があるが予定はない」と答えた人は、就学前児童が32.0%、小学校児童は35.3%となっており、両者を合わせた『フルタイム転換希望』は就学前児童が43.2%、小学校児童は50.9%みられる。

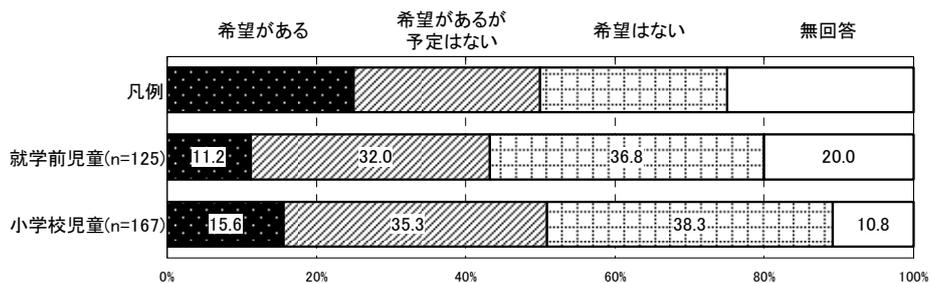
＜パートタイム、アルバイト等勤務の母親の1週間当りの平均就労日数＞



＜パートタイム、アルバイト等勤務の母親の1日当りの平均就労時間＞

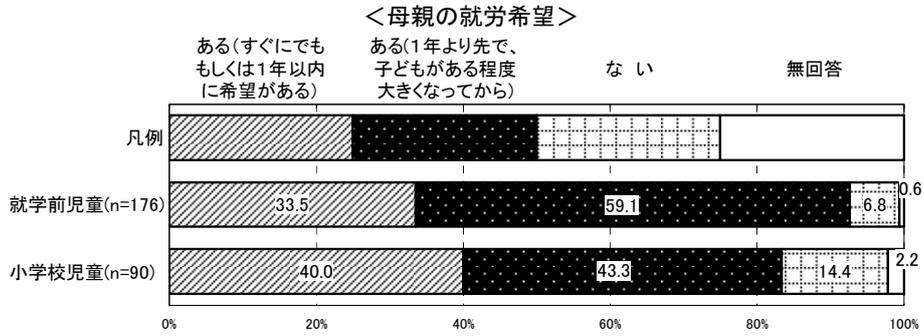


＜パートタイム、アルバイト等勤務の母親のフルタイムへの転換希望＞



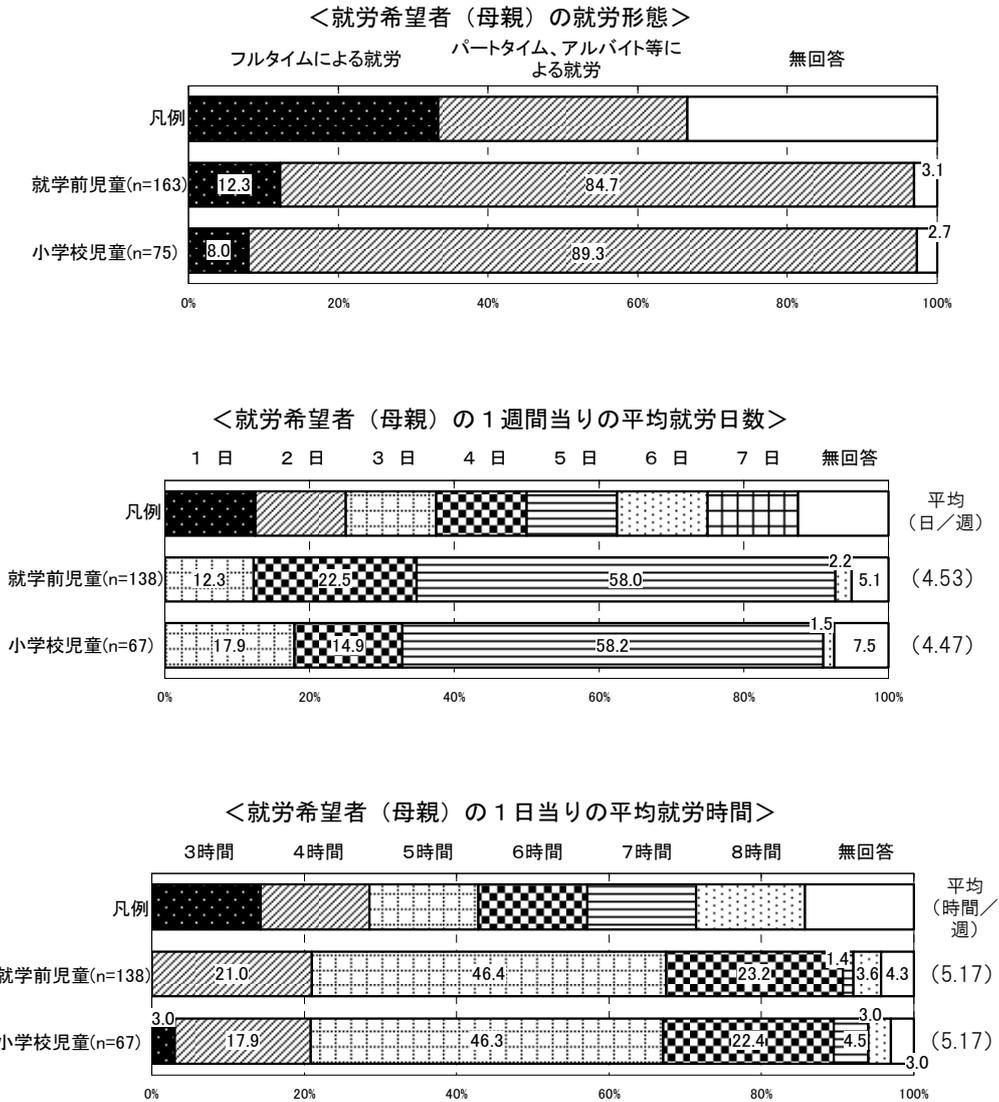
## (2) 母親の就労希望

現在、就労していない母親の就労希望をみると、「ある(すぐにももしくは1年以内に希望がある)」と答えた人は就学前児童が33.5%、小学校児童は40.0%、「ある(1年より先で、子どもがある程度大きくなってから)」は就学前児童が59.1%、小学校児童は43.3%となっており、両者をあわせた『就労希望者』は就学前児童が92.6%、小学校児童は83.3%と、高い割合となっている。



就労希望がある母親の希望就労形態をみると、「パートタイム、アルバイト等による就労」がいずれも8割を超えており、「フルタイムによる就労」は就学前児童が12.3%、小学校児童は8.0%にとどまっている。

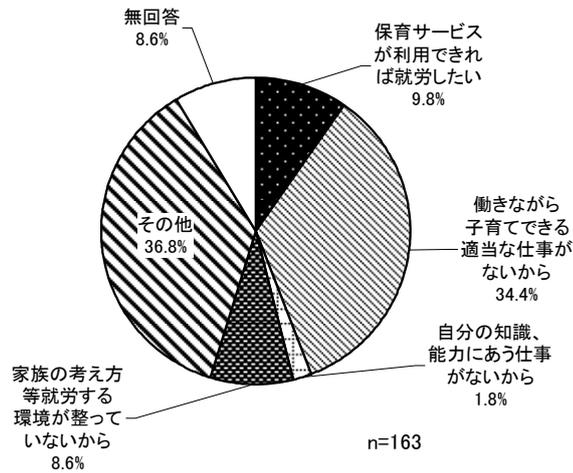
就労を希望する母親の1週間当りの希望平均就労日数をみると、就学前児童は4.53日、小学校児童は4.47日で、ほぼ同程度となっている。また1日あたりの希望平均就労時間をみると、いずれも5.17時間で、同程度となっている。



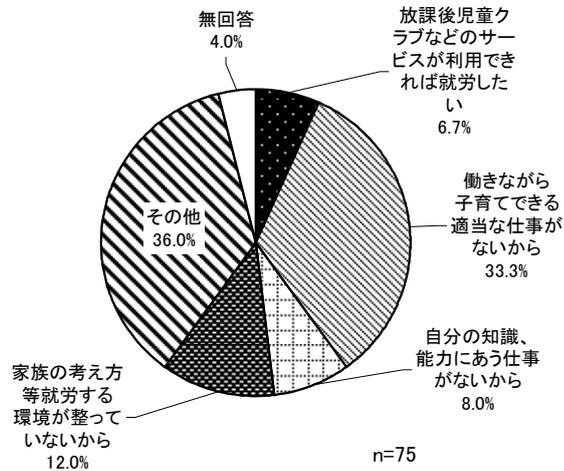
### (3) 就労していない理由

現在、就労していない母親の就労しない理由をみると、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」がいずれも3割程度で最も高くなっている。なお、就学前児童で「保育サービスが利用できないから」と答えた人は9.8%、小学校児童で「放課後児童クラブなどのサービスが利用できれば就労したい」と答えた人は6.7%みられる。

<就労希望者の就労しない理由（就学前児童）>

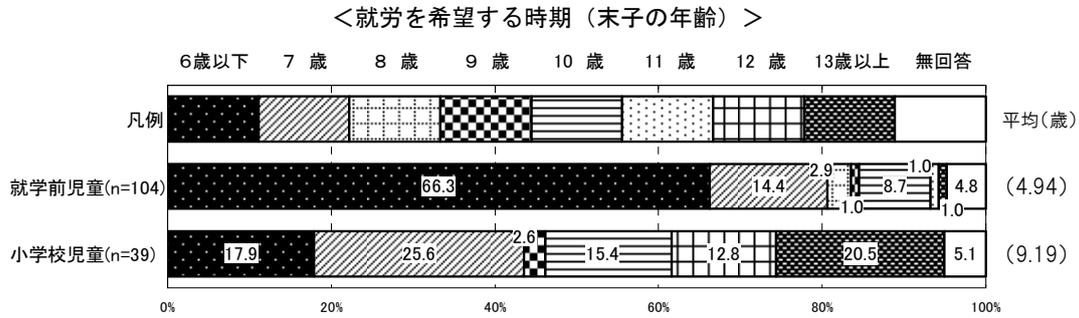


<就労希望者の就労しない理由（小学校児童）>



(4) 就労を希望する時期

子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した子どもの年齢をみると、平均年齢は就学前児童が4.94歳に対して、小学校児童は9.19歳と、小学校児童の方が高くなっている。

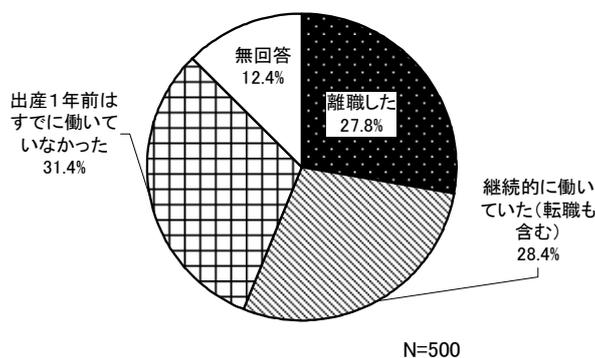


## (5) 出産前後の離職状況

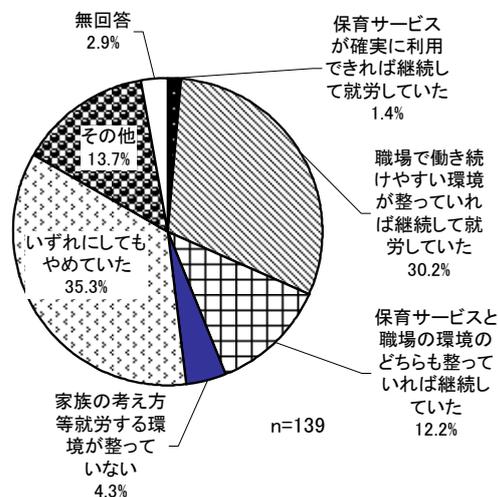
就学前児童の母親について、出産前後の離職状況を見ると、「出産1年前はすでに働いていなかった」(31.4%)が最も高く、次いで「継続的に働いていた(転職も含む)」(28.4%)、「離職(退職)した」(27.8%)の順となっている。

出産前後に離職した母親に、どのような条件が整っていたら離職しなかったかを尋ねたところ、「いずれにしてもやめていた」が35.3%で最も高いものの、「職場で働き続けやすい環境が整っていれば継続して就労していた」と答えた人も30.2%みられた。また、「保育サービスが確実に利用できれば、継続して就労していた」から「就労に対する家庭・家族内の環境が整っていれば就労していた」までを合わせた割合は48.1%となり、離職者の4割以上は、就労するための環境が整っていれば就労を継続する希望があったことがわかる。

<出産前後の離職状況(就学前児童)>



<離職者の条件別就労継続の状況(就学前児童)>



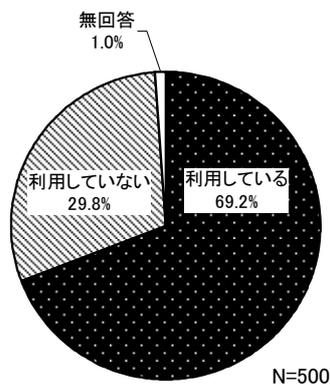
### 3. 保育サービスの利用について

#### (1) 保育サービスの利用状況

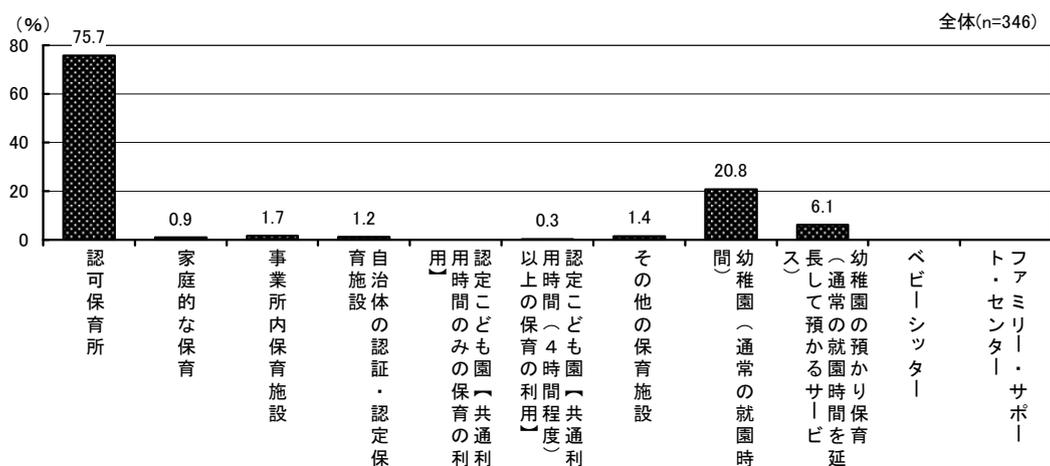
就学前児童について、保育サービスの利用状況を見ると、「利用している」が69.2%、「利用していない」は29.8%であり、約7割の世帯が保育サービスを利用している。

利用している保育サービスをみると、「認可保育所」が75.7%で最も高く、次いで「幼稚園」(20.8%)、「幼稚園の預かり保育」(6.1%)などの順となっている。

<保育サービスの利用状況>



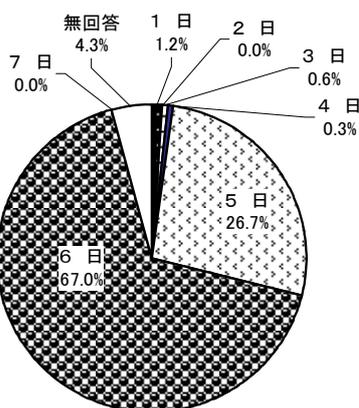
<利用している保育サービス>



保育サービスの1週あたりの利用日数をみると、「6日」が67.0%で最も高く、次いで「5日」(26.7%)であり、これらが大半を占めている。なお、週平均は5.64日となっている。

保育サービスの利用時間帯をみると、利用開始時間は「8時台」(52.2%)、「9時台」(36.5%)が中心であり、利用終了時間は「17時台」が42.9%と最も高く、次いで「16時台」(22.3%)、「18時台」(14.5%)、「15時台」(11.3%)などの順となっている。なお、利用開始時間・終了時間の平均をみると、開始時間は8時20分頃、終了時間は16時40分頃となっている。

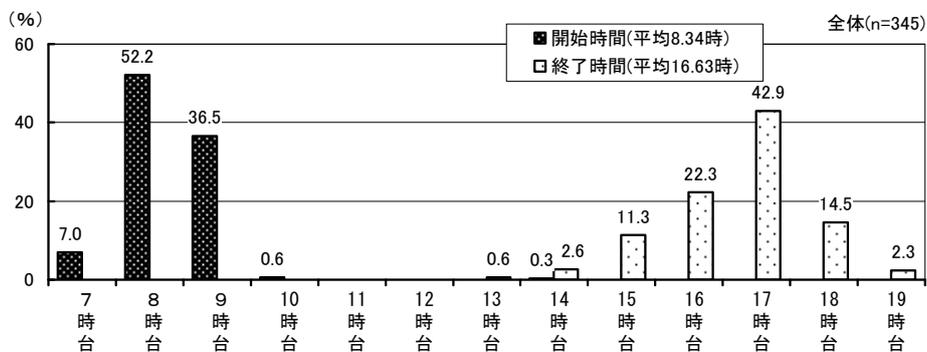
< 1週あたり利用日数 >



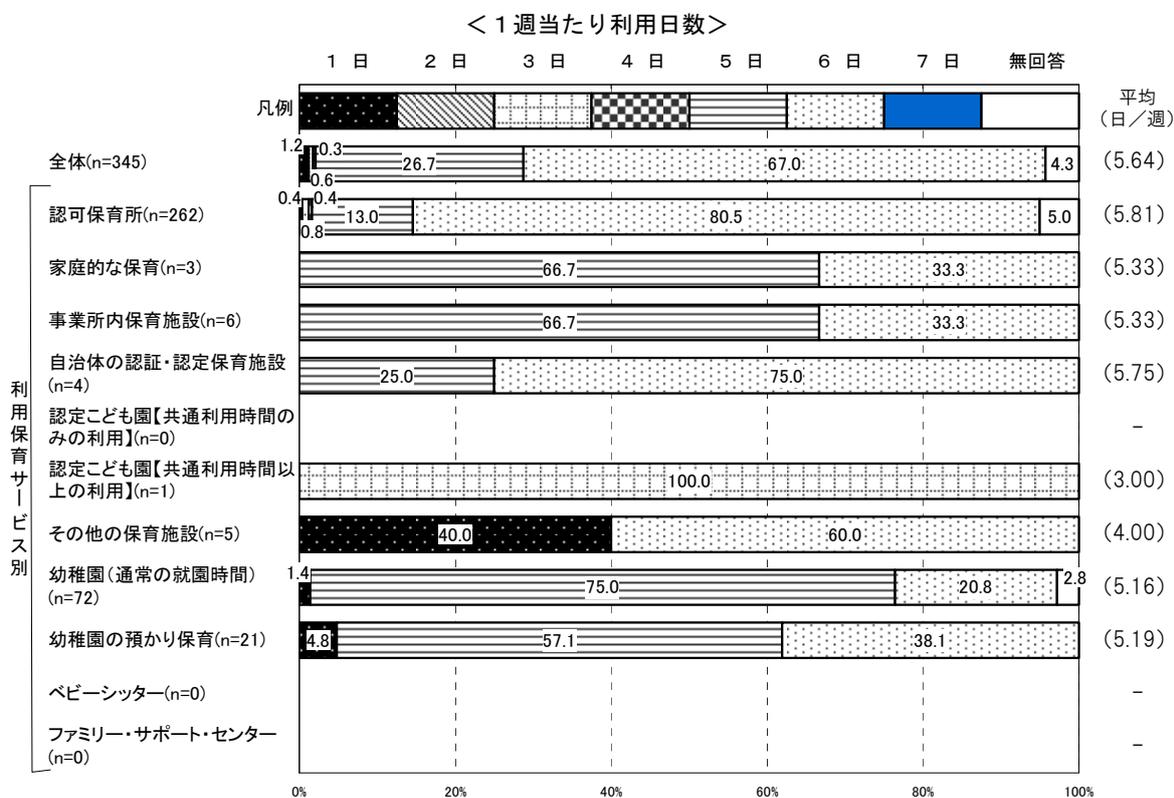
N=345

< 平均: 5.64日 / 週 >

< 利用開始時間・利用終了時間 >



保育サービスごとの1週当たりの平均利用日数をみると、「認可保育所」は5.64日、「幼稚園」は5.16日、「幼稚園の預かり保育」は5.19日となっている。なお、左記以外の保育サービスの利用件数が少ないものの、サービスごとの1週当たりの平均利用日数は「家庭的な保育」が5.33日、「事業所内保育施設」は5.33日、「自治体の認証・認定保育施設」は5.75日、「その他の保育施設」は4.00日などとなっている。



保育サービスごとの利用開始時間・利用終了時間をみると、「認可保育所」は「8時台」(57.3%)が、「幼稚園」は「9時台」(59.7%)が最も多い。利用終了時間は「幼稚園」が「15時台」(48.6%)が、「認可保育所」は「17時台」(51.5%)が最も多くなっている。

<利用開始時間>

単位:%

	サンプル数	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	無回答	平均(時)	
全体	345	7.0	52.2	36.5	0.6	-	-	-	0.3	3.5	8.34	
利用保育サービス別	認可保育所	262	8.4	57.3	30.5	-	-	-	-	3.8	8.23	
	家庭的な保育	3	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	8.67	
	事業所内保育施設	6	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	8.50	
	自治体の認証・認定保育施設	4	25.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-	8.25	
	認定こども園【共通利用時間のみの利用】	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	認定こども園【共通利用時間以上の利用】	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	9.00	
	その他の保育施設	5	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	8.40	
	幼稚園(通常の就園時間)	72	1.4	34.7	59.7	-	-	-	-	1.4	2.8	8.69
	幼稚園の預かり保育	21	4.8	42.9	47.6	-	-	-	-	4.8	-	8.71
	ベビーシッター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

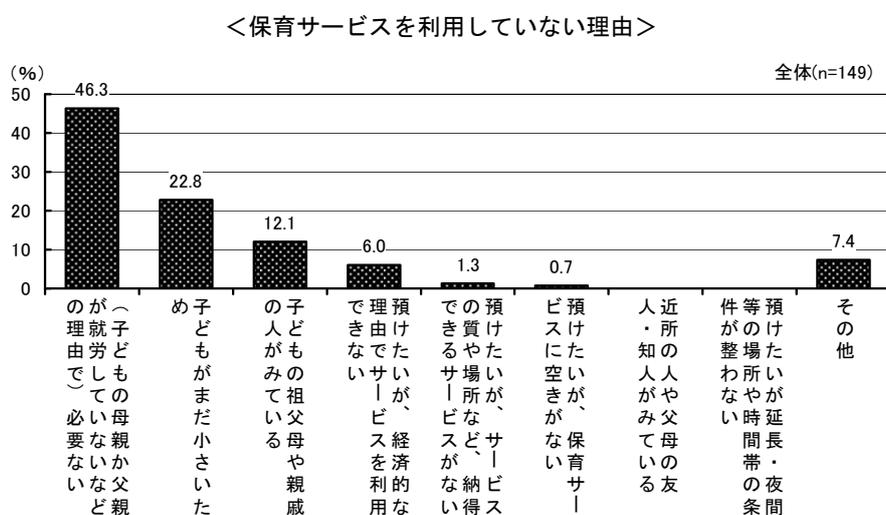
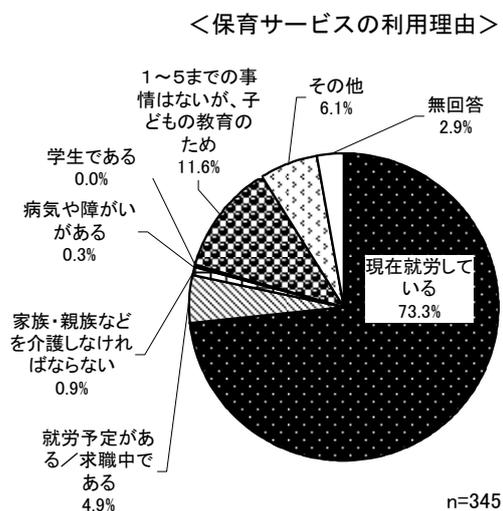
<利用終了時間>

単位:%

	サンプル数	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	無回答	平均(時)	
全体	345	0.6	2.6	11.3	22.3	42.9	14.5	2.3	3.5	16.63	
利用保育サービス別	認可保育所	262	0.4	-	1.1	23.3	51.5	17.6	2.3	3.8	16.95
	家庭的な保育	3	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	16.67
	事業所内保育施設	6	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	16.50
	自治体の認証・認定保育施設	4	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-	16.00
	認定こども園【共通利用時間のみの利用】	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	認定こども園【共通利用時間以上の利用】	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	13.00
	その他の保育施設	5	-	-	20.0	-	20.0	20.0	40.0	-	17.60
	幼稚園(通常の就園時間)	72	-	12.5	48.6	19.4	13.9	2.8	-	2.8	15.44
	幼稚園の預かり保育	21	-	4.8	42.9	14.3	33.3	4.8	-	-	15.90
	ベビーシッター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

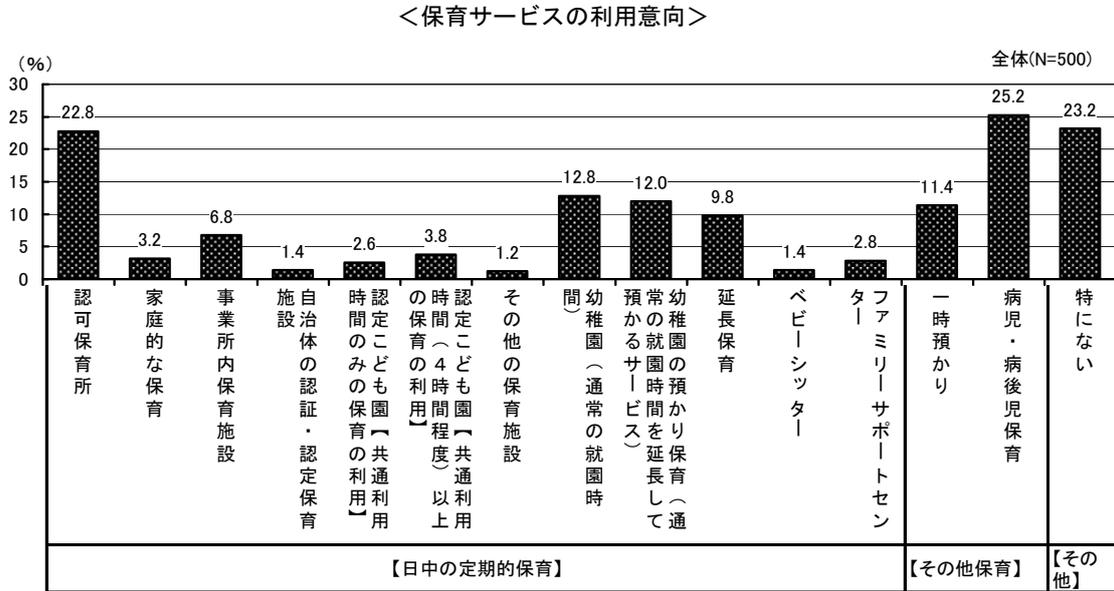
保育サービスの利用理由をみると、「現在就労している」(73.3%)が最も高く、全体の7割以上を占めている。

一方、現在、保育サービスを利用していない人の理由をみると、「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」(46.3%)が最も多いものの、「子どもがまだ小さいため」(22.8%)、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」(12.1%)、「預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない」(6.0%)などの理由から、保育サービスを利用していない人もみられる。

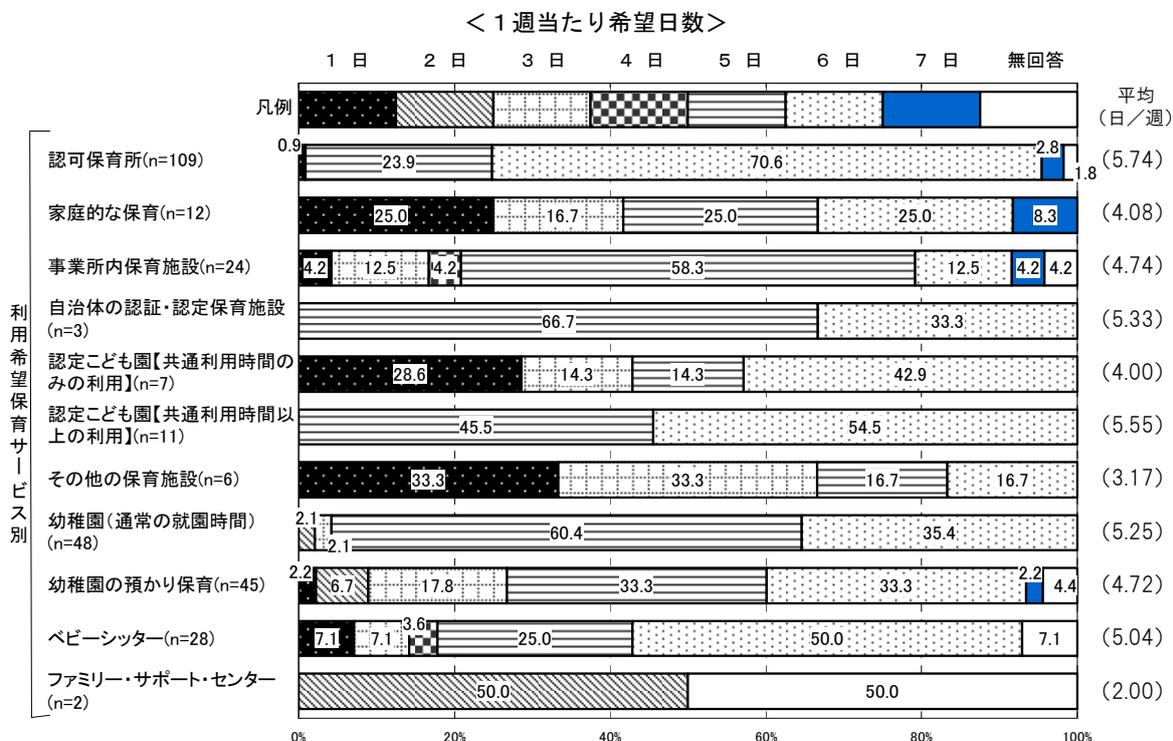


## (2) 保育サービスの利用意向

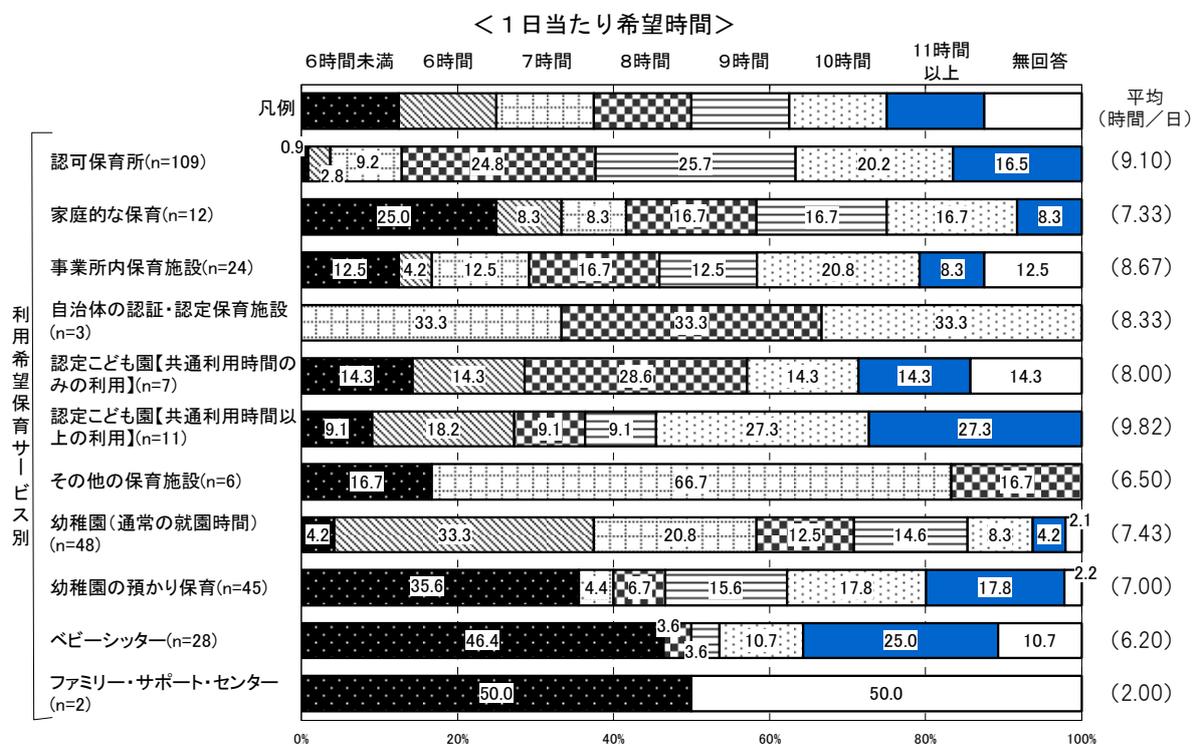
保育サービスの利用意向をみると、日中の定期的保育では「認可保育所」が22.8%で最も高く、次いで「幼稚園」(12.8%)、「幼稚園の預かり保育」(12.0%)、「延長保育」(9.8%)、「事業所内保育施設」(6.8%)などの順となっている。その他の保育では「病児・病後児保育」が25.2%、「一時預かり」は11.4%となっている。



利用したい保育サービスごとの1週あたりの希望日数をみると、「認可保育所」は「6日」(70.6%)が最も多く、7割を占めている。「幼稚園」は「5日」(60.4%)が最も多く、次いで「6日」(35.4%)の順となっている。平均日数をみると「認可保育所」が5.74日、「幼稚園」は5.25日となっている。左記以外の保育サービスについては、下図のとおりとなっている。



保育サービスごとの1日あたりの希望時間をみると、「認可保育所」は「9時間」(25.7%)が最も多く、次いで「8時間」(24.8%)、「10時間」(20.2%)の順となっている。「幼稚園」は「6時間」(33.3%)が最も多く、次いで「7時間」(20.8%)の順となっている。平均希望時間をみると、「認可保育所」は9.10時間、「幼稚園」は7.43時間となっている。左記以外の保育サービスについては、下図のとおりとなっている。



保育サービスごとの希望の利用開始時間をみると、「認可保育所」は「8時台」(47.7%)が最も高く、次いで「9時台」(35.8%)の順となっている。「幼稚園」は「9時台」(60.4%)が最も高く、次いで「8時台」(37.5%)の順となっている。

同様に、希望の利用終了時間をみると、「認可保育所」は「17時台」(37.6%)が最も高く、次いで「18時台」(31.2%)の順となっており、平均は17時20分頃となっている。一方、「幼稚園」は「15時台」(41.7%)が最も高く、次いで「17時台」(22.9%)の順となっており、平均は16時頃となっている。

なお、左記以外の保育サービスについては、下図のとおりとなっている。

<利用開始時間>

単位:%

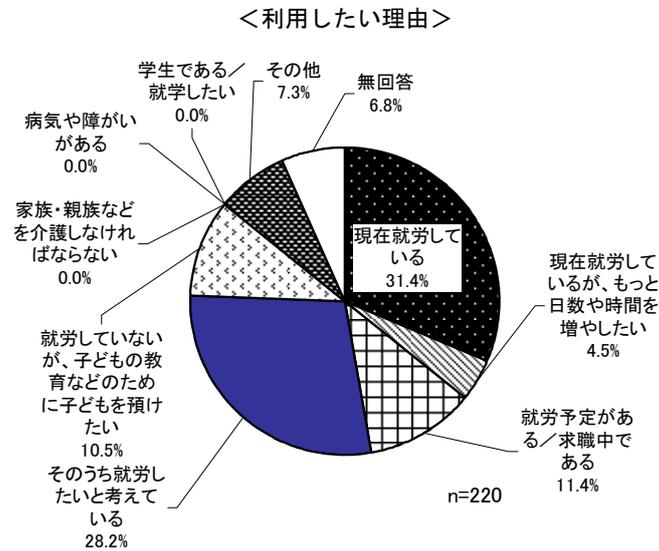
		サンプル数	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台以降	無回答	平均(時)	
利用保育サービス別	認可保育所	109	0.9	13.8	47.7	35.8	-	-	-	-	-	-	-	1.8	8.21	
	家庭的な保育	12	-	8.3	25.0	58.3	-	-	-	8.3	-	-	-	-	8.92	
	事業所内保育施設	24	-	-	37.5	33.3	8.3	-	-	-	-	-	4.2	16.7	9.05	
	自治体の認証・認定保育施設	3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	9.00	
	認定こども園【共通利用時間のみの利用】	7	-	14.3	28.6	28.6	-	-	-	-	-	-	-	28.6	8.20	
	認定こども園【共通利用時間以上の利用】	11	-	18.2	45.5	36.4	-	-	-	-	-	-	-	-	8.18	
	その他の保育施設	6	-	16.7	-	50.0	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	8.80	
	幼稚園(通常の就園時間)	48	-	-	37.5	60.4	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	8.62
	幼稚園の預かり保育	45	-	13.3	33.3	17.8	-	-	-	-	4.4	24.4	4.4	2.2	10.43	
	ベビーシッター	28	-	17.9	17.9	7.1	-	-	-	-	3.6	-	42.9	10.7	12.72	
ファミリー・サポート・センター	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	10.00		

<利用終了時間>

単位:%

		サンプル数	13時台以前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時以降	無回答	平均(時)
利用保育サービス別	認可保育所	109	0.9	-	3.7	12.8	37.6	31.2	10.1	0.9	0.9	1.8	17.35
	家庭的な保育	12	16.7	-	8.3	16.7	25.0	25.0	-	8.3	-	-	16.25
	事業所内保育施設	24	-	4.2	8.3	8.3	25.0	29.2	8.3	-	-	16.7	17.10
	自治体の認証・認定保育施設	3	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-	-	17.33
	認定こども園【共通利用時間のみの利用】	7	14.3	-	14.3	14.3	-	14.3	14.3	-	-	28.6	16.20
	認定こども園【共通利用時間以上の利用】	11	-	9.1	18.2	-	9.1	36.4	27.3	-	-	-	17.27
	その他の保育施設	6	-	-	-	33.3	33.3	-	-	16.7	16.7	-	17.83
	幼稚園(通常の就園時間)	48	-	4.2	41.7	16.7	22.9	8.3	4.2	-	-	2.1	16.02
	幼稚園の預かり保育	45	2.2	-	4.4	8.9	28.9	37.8	11.1	4.4	-	2.2	17.48
	ベビーシッター	28	-	-	-	-	3.6	25.0	32.1	25.0	3.6	10.7	19.00
ファミリー・サポート・センター	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	12.00	

今後、保育サービスを利用したい理由をみると、「現在就労している」(31.4%)が最も高く、次いで「そのうち就労したいと考えている」(28.2%)の順となっている。また、「就労予定がある／求職中である」(11.4%)も1割程度みられるほか、「就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい」(10.5%)1割程度みられる。



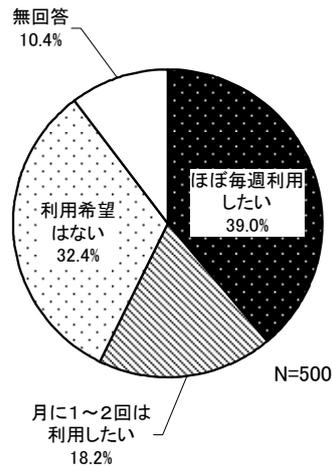
### (3) 土・日・祝日の保育サービスの利用希望

#### ①土曜日

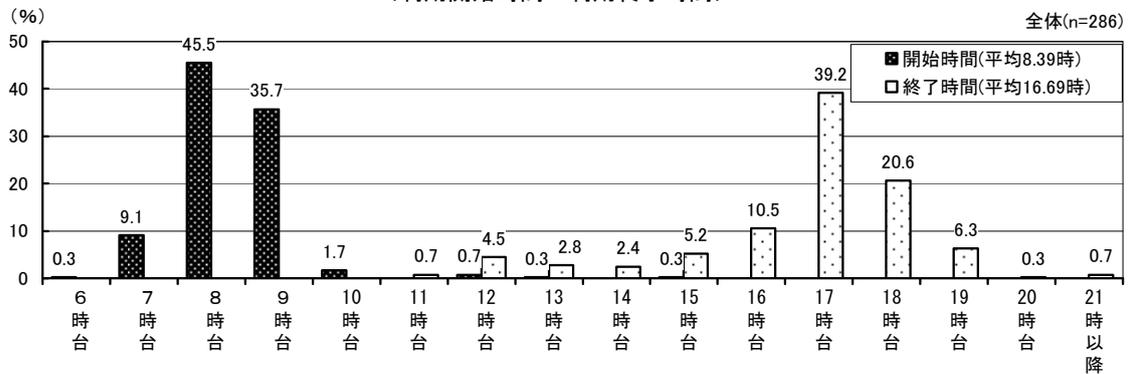
土曜日の保育サービスの利用希望について、「ほぼ毎週利用したい」と答えた人は39.0%、「月に1～2回は利用したい」は18.2%となっている。

利用希望時間についてみると、開始時間は「8時台」(45.5%)が最も多く、次いで「9時台」(35.7%)の順となっている。一方、終了時間は「17時台」(39.2%)が最も多く、次いで「18時台」(20.6%)の順となっている。なお、開始時間・終了時間の平均をみると、開始時間は8時20分頃、終了時間は16時40分頃となっている。

<土曜日の保育サービスの利用意向>



<利用開始時間・利用終了時間>

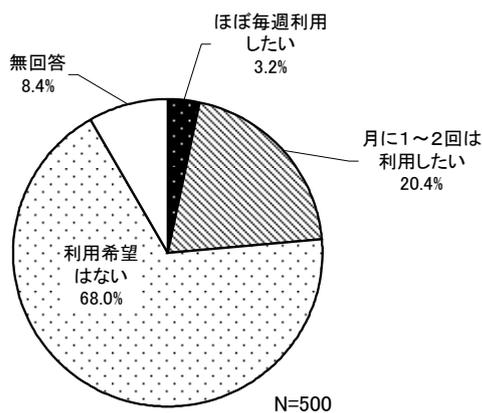


## ②日曜日・祝日

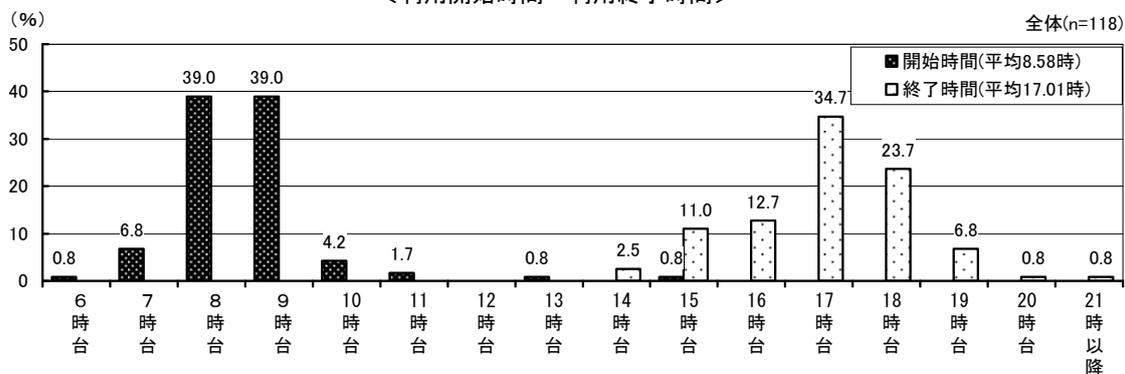
日曜日・祝日の保育サービスの利用希望について、「ほぼ毎週利用したい」と答えた人は3.2%、「月に1～2回は利用したい」は20.4%となっている。

利用希望時間についてみると、開始時間は「8時台」および「9時台」（いずれも39.0%）が最も多くなっている。一方、終了時間は「17時台」（34.7%）が最も多く、次いで「18時台」（23.7%）の順となっている。なお、開始時間・終了時間の平均をみると、開始時間は8時半頃、終了時間は17時頃となっている。

<日曜日・祝日の保育サービスの利用意向>



<利用開始時間・利用終了時間>



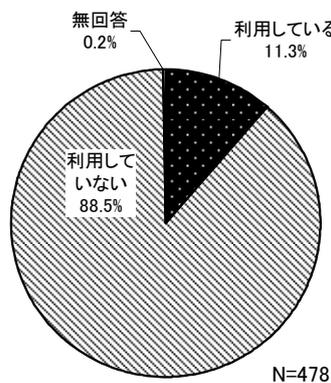
## 4. 放課後児童クラブの利用について

### (1) 放課後児童クラブの利用状況

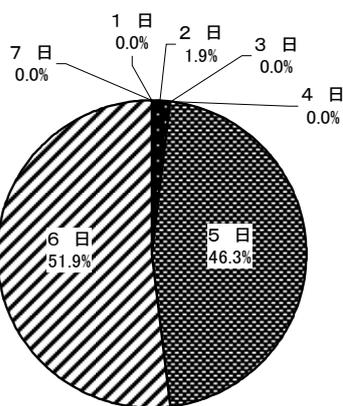
小学校児童について、放課後児童クラブの利用状況を見ると、「利用している」と答えた人は11.3%となっている。

1週当たりの利用日数をみると、「6日」(51.9%)が最も多く、次いで「5日」(46.3%)の順となっている。なお、平均利用日数は5.46日となっている。

<放課後児童クラブの利用状況>

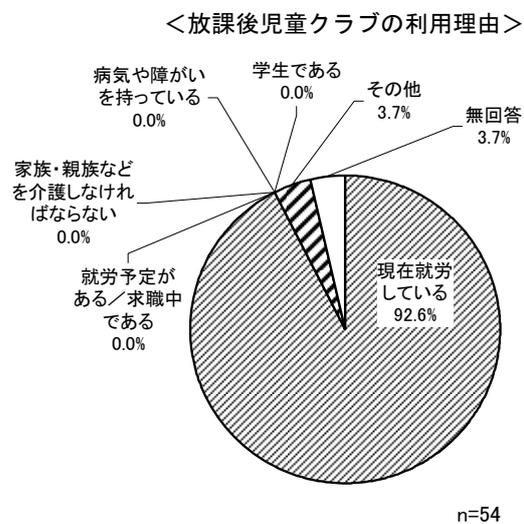


<1週当たり利用日数>

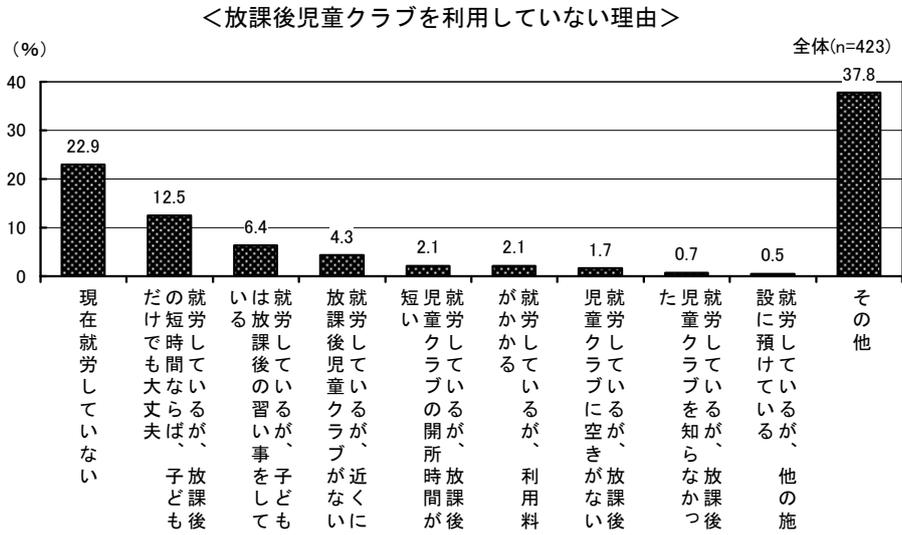


<平均:5.46日/週>

放課後児童クラブの利用理由をみると、「現在就労している」(92.6%)が9割を占めており、中心的な理由となっている。



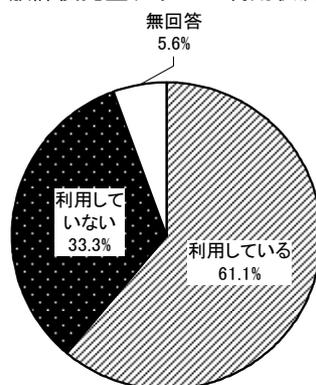
現在、学童保育を利用していない人の主な理由をみると、「現在就労していない」が 22.9%で最も高く、次いで、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫」(12.5%)の順となっている。



## (2) 土曜日の放課後児童クラブの利用状況

放課後児童クラブを利用している人のうち、土曜日の利用状況をみると、「利用している」と答えた人は61.1%となっており、利用者の6割は土曜日にも利用している。

<放課後児童クラブの利用状況>

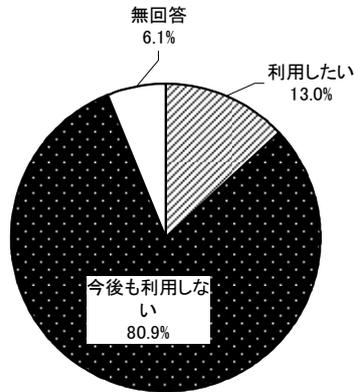


n=54

### (3) 放課後児童クラブの利用意向

放課後児童クラブを利用していない人の利用意向をみると、「利用したい」と答えた人は 13.0%となっている。

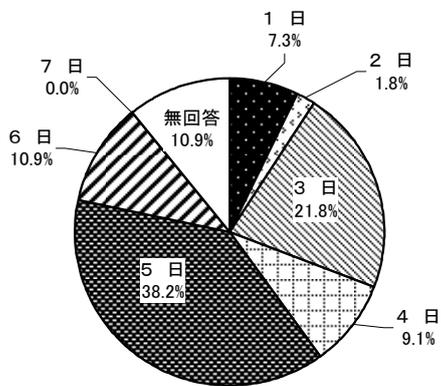
<非利用者の利用意向>



n=423

1週当たりの希望日数をみると、「5日」(38.2%)が最も多く、次いで「3日」(21.8%)、「6日」(10.9%)、「4日」(9.1%)の順となっており、平均利用日数は4.14日となっている。  
また、土曜日における利用希望の有無をみると、「ある」と答えた人は63.6%となっている。

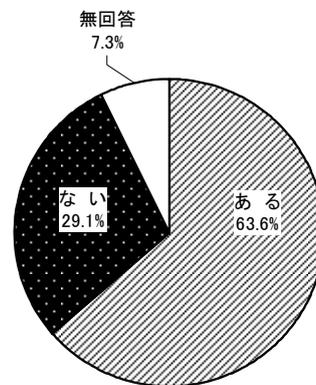
<1週当たり希望日数>



<平均:4.14日/週>

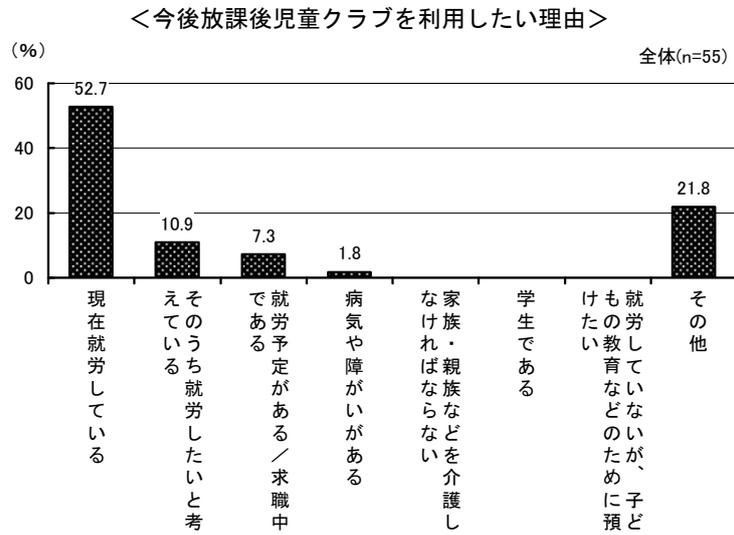
n=55

<土曜日の利用希望の有無>



n=55

現在、放課後児童クラブを利用していない人について、今後放課後児童クラブを利用したい理由をみると、「現在就労している」が52.7%で最も高く、利用希望者の過半数が理由としてあげている。

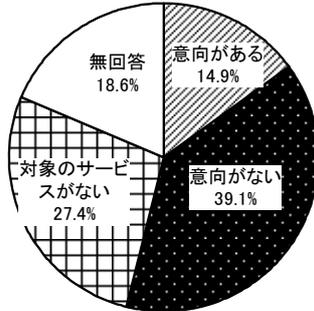


#### (4) 放課後子ども教室の利用意向

放課後子ども教室の利用意向をみると、「意向がある」と答えた人は14.9%となっている。

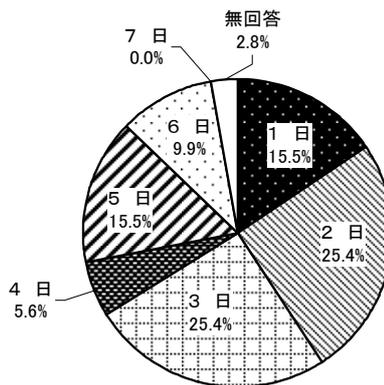
なお、利用意向者の希望日数をみると、「2日」および「3日」（いずれも25.4%）が最も多く、次いで「1日」および「5日」（いずれも15.5%）の順となっており、平均は3.10日となっている。

<放課後子ども教室の利用意向>



N=478

<放課後子ども教室の希望日数>



<平均:3.10日/週>

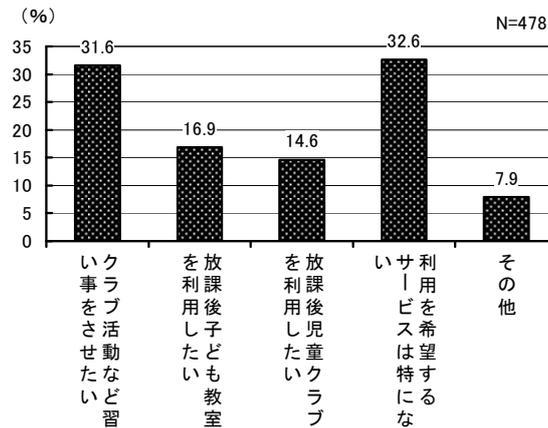
n=71

(5) 小学4年生以降における放課後の過ごし方に対する希望

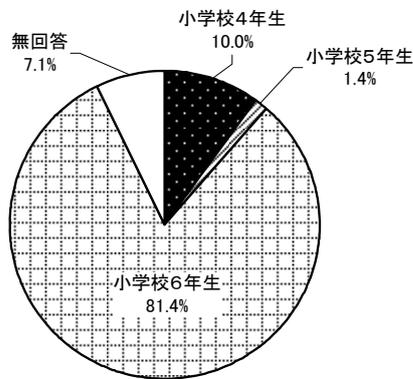
小学4年生以降における放課後の過ごし方に対する希望をみると、「クラブ活動など習い事をさせたい」が31.6%で最も高く、次いで「放課後子ども教室を利用したい」(16.9%)、「放課後児童クラブを利用したい」(14.6%)の順となっている。

「放課後児童クラブを利用したい」と答えた人に何年生まで希望するかを尋ねたところ、「小学校6年生まで」が81.4%と、希望者の8割を占めている。

<小学4年生以降における放課後の過ごし方に対する希望>



<放課後児童クラブの利用を希望する学年>

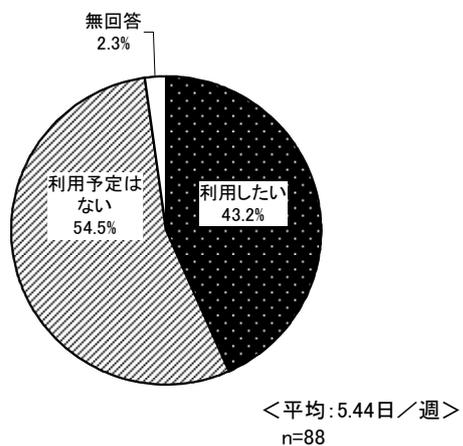


n=70

## (6) 小学校入学時の放課後児童クラブ利用意向・利用日数

来年度、小学校に入学する就学前児童における放課後児童クラブの利用意向をみると、「利用したい」と答えた人は43.2%となっている。なお、放課後児童クラブの利用意向がある人の利用希望日数は平均5.44日となっている。

<小学校入学時の放課後児童クラブ利用意向>



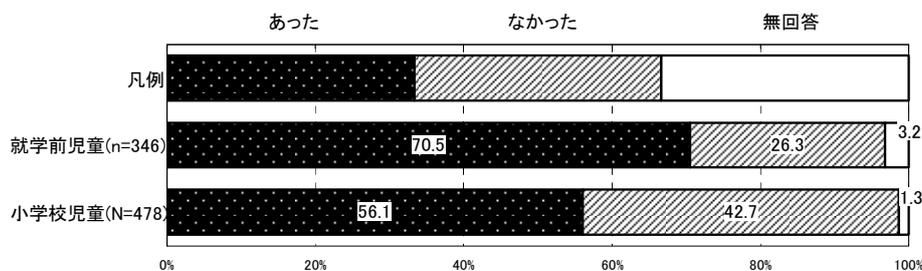
## 5. 病児・病後児保育の利用について

### (1) 病気等により保育所や学校を休まなければならなかったこと

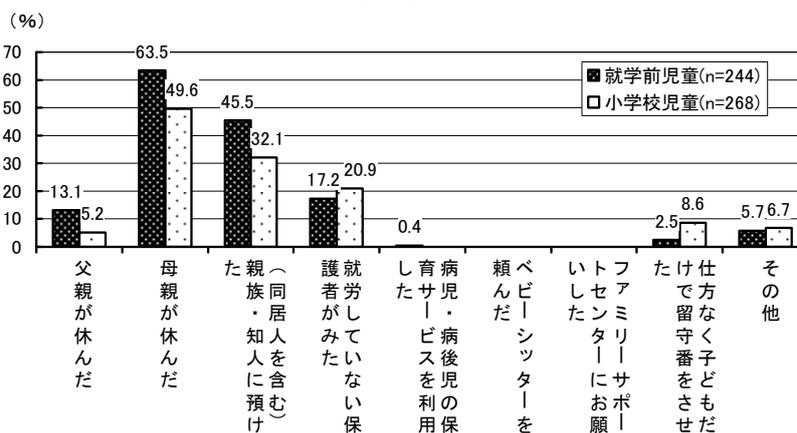
この1年間に「お子さん」が病気やケガで、保育所や学校を休まなければならなかったことの有無をみると、「ある」と答えた人は就学前児童が70.5%、小学校児童は56.1%となっている。

この1年間において保育所や学校を休まなければならなかった人の対処方法をみると、いずれも「母親が休んだ」が最も多く、次いで「(同居人を含む) 親族・知人に預けた」、「就労していない保護者がみた」の順となっている。

＜病気等により保育所や学校を休まなければならなかったことの有無＞

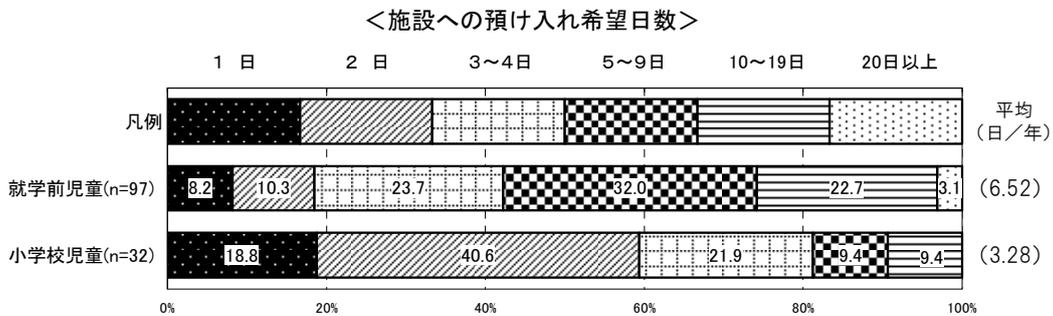
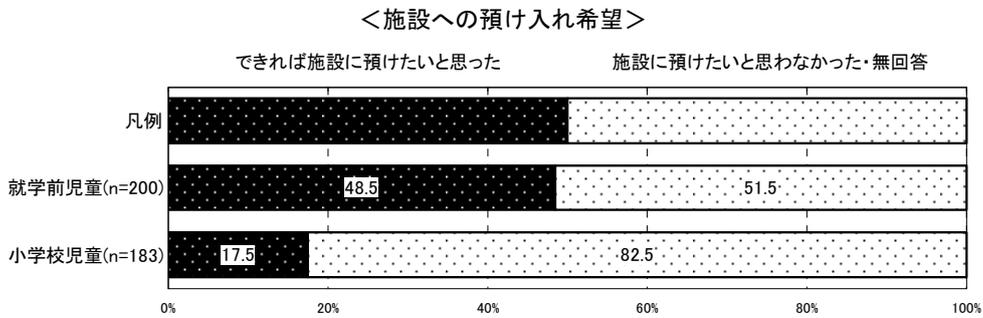


＜対処方法＞



「父親が休んだ」、「母親が休んだ」、「(同居人を含む) 親族・知人に預けた」と答えた人に施設への預け入れ希望をみると、「できれば施設に預けたいと思った」人は、就学前児童が48.5%と約5割みられるのに対して、小学校児童は17.5%と、差がみられる。

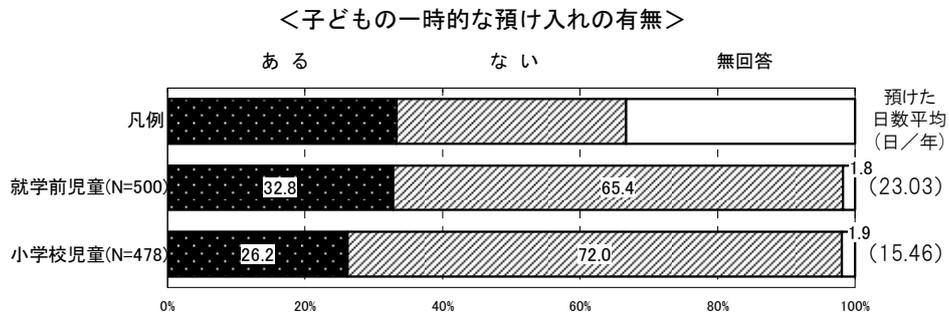
なお、施設に預けたい日数の平均をみると、就学前児童は6.52日に対して、小学校児童は3.28日となっており、預けたい期間にも差がみられる。



## 6. 一時預かりの利用について

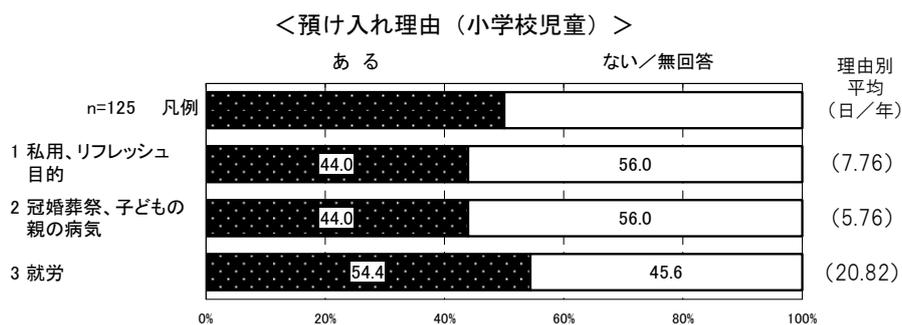
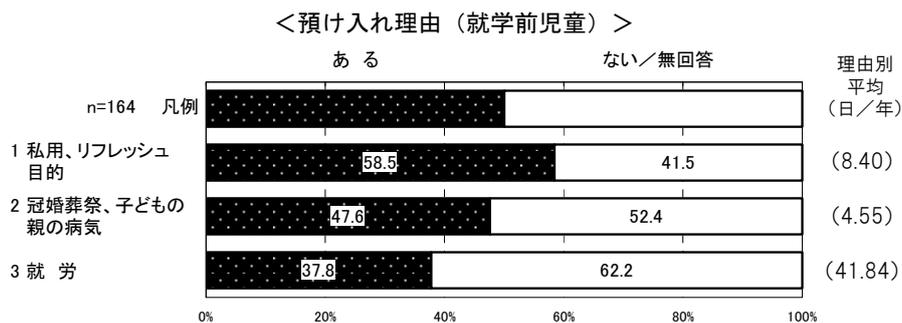
### (1) 子どもの一時的な預け入れの有無・日数

この1年間における子どもの一時的な預け入れの有無をみると、「ある」と答えた人は就学前児童が32.8%、小学校児童は26.2%となっている。なお、子どもの一時的な預け入れ経験があると回答した人の平均日数は、就学前児童が23.03日、小学校児童は15.46日となっている。



子どもの一時的な預け入れ経験者の理由をみると、就学前児童は「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」（58.5%）が最も多く、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の病気」（47.6%）、「仕事（就労）」（37.8%）の順となっている。預け入れ理由別にみた平均日数をみると、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」は8.40日、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」は4.55日、「仕事（就労）」は41.84日となっている。

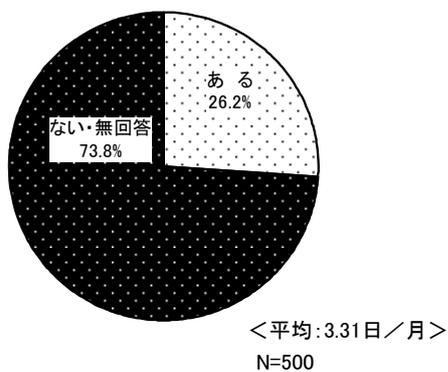
小学校児童は「仕事（就労）」（54.4%）が最も多く、次いで「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」および「冠婚葬祭、子どもの親の病気」（いずれも44.0%）の順となっている。預け入れ理由別にみた平均日数をみると、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」は7.76日、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」は5.76日、「仕事（就労）」は20.82日となっている。



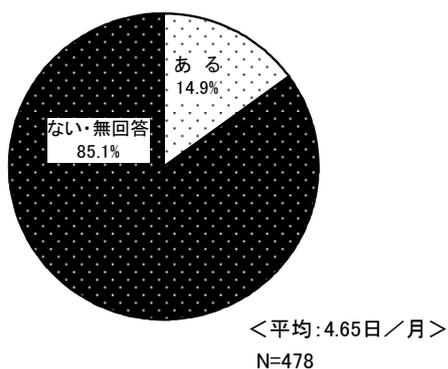
## (2) 一時預かりサービスの利用意向

一時預かりサービスの利用意向をみると、「ある」と答えた人は就学前児童が 26.2%、小学校児童は 14.9%となっている。なお、預け入れの平均希望日数は就学前児童が 3.31 日、小学校児童は 4.65 日となっている。

<預け入れの希望（就学前児童）>



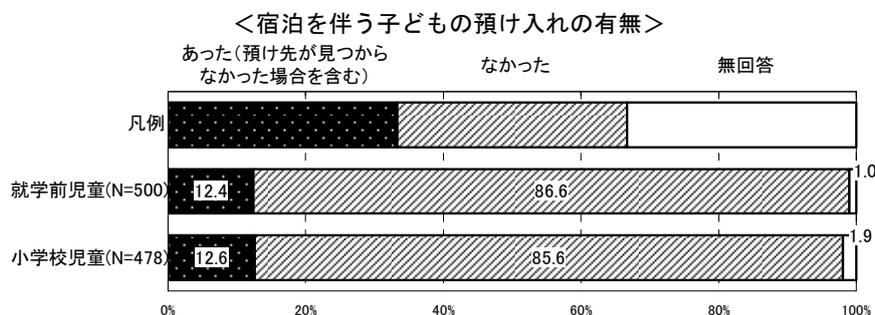
<預け入れの希望（小学校児童）>



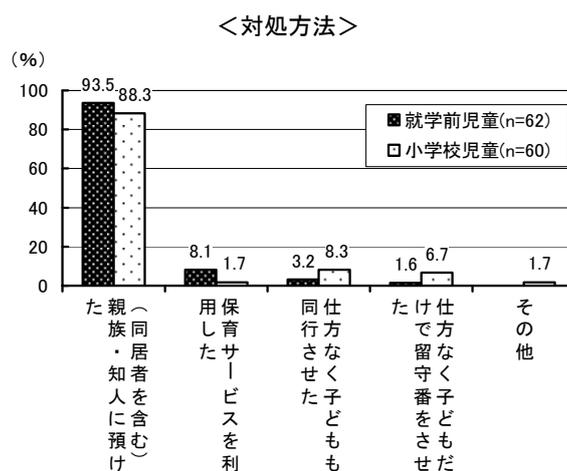
## 7. 宿泊を伴う一時預かりの利用について

### (1) 宿泊を伴う子どもの預け入れの有無・泊数

この1年間において子どもの宿泊を伴う預け入れの有無をみると、「あった」と答えた人は就学前児童が12.4%、小学校児童は12.6%となっている。



この1年間において子どもの宿泊を伴う預け入れ経験者の対象方法をみると、「(同居人を含む) 親族・知人に預けた」がいずれも突出しており、就学前児童は93.5%、小学校児童も88.3%みられる。なお、対処方法別にみた預け入れの平均日数は以下の表のとおりで、「(同居人を含む) 親族・知人に預けた」は就学前児童が10.45日、小学校児童は14.43日となっている。

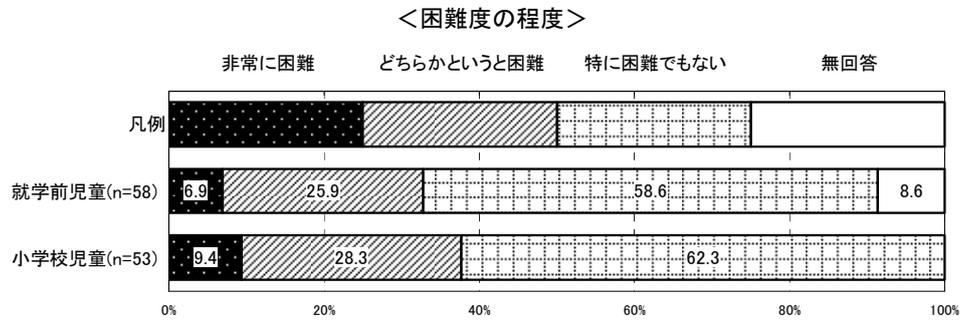


### ＜対処方法別平均日数＞

単位: 平均(泊/年)

	サンプル数	族(同居人を含むに預けた)泊数	保育サービスを利用した泊数	仕方なく子どもを預けた泊数	留守番をさせた子ども泊数	その他の日数
就学前児童	58	10.45	2.50	1.00	-	-
小学校児童	53	14.43	-	4.67	2.00	1.00

子どもを親族・知人に預けたときの大変さを尋ねたところ、いずれも「特に困難でもない」と答えた人の割合が最も高くなっている。なお、「非常に困難」と答えた人の割合は就学前児童は6.9%、小学校児童は9.4%、「どちらかという困難」は就学前児童が25.9%、小学校児童は28.3%となっている。



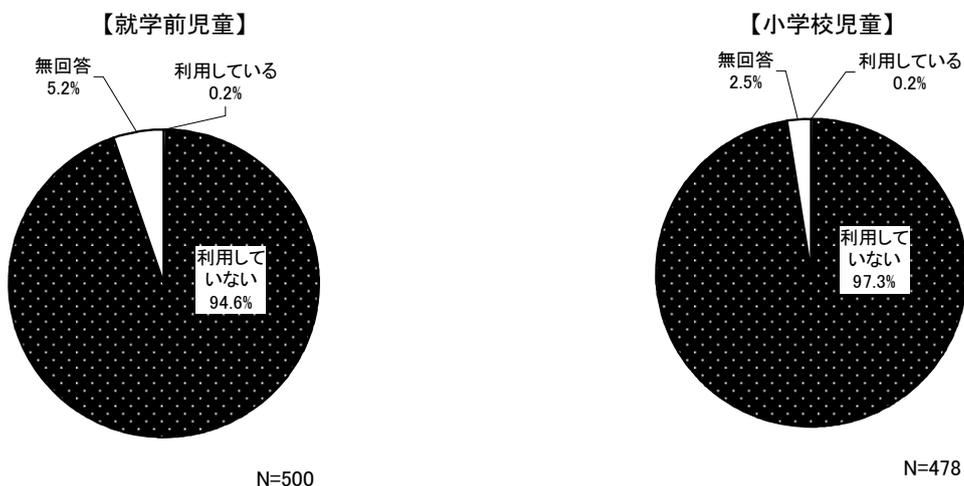
## 8. ベビーシッターの利用について

### (1) ベビーシッターの利用状況・今後の利用意向

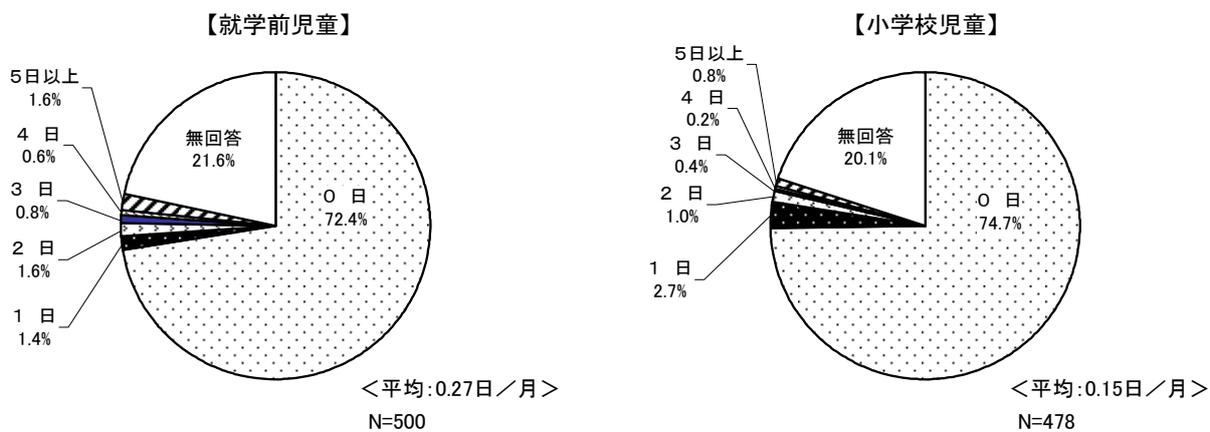
ベビーシッターの利用状況を見ると、就学前児童、小学校児童のいずれも「利用している」と答えた人はほとんどみられない。

また、ベビーシッターの今後の利用意向をみると、利用を希望する人は就学前児童、小学校児童のいずれも1割にも満たない。

<ベビーシッターの利用状況>



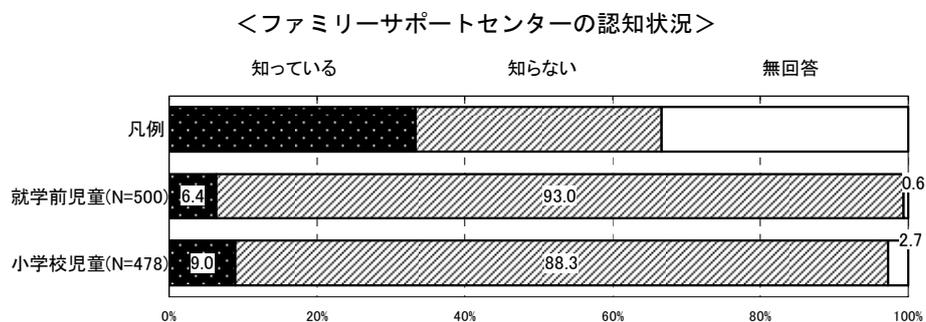
<ベビーシッターの利用希望日数>



## 9. ファミリーサポートセンターの利用意向について

### (1) ファミリーサポートセンターの認知状況

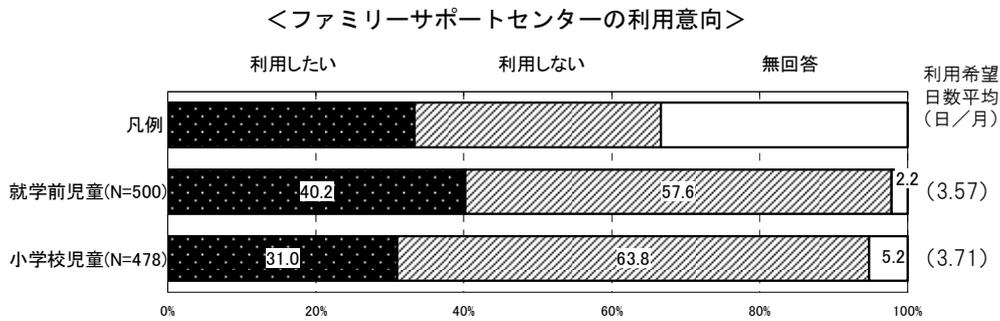
ファミリーサポートセンターの認知状況を見ると、「知っている」と答えた人は就学前児童が6.4%、小学校児童は9.0%となっており、認知率はいずれも1割を下回る。



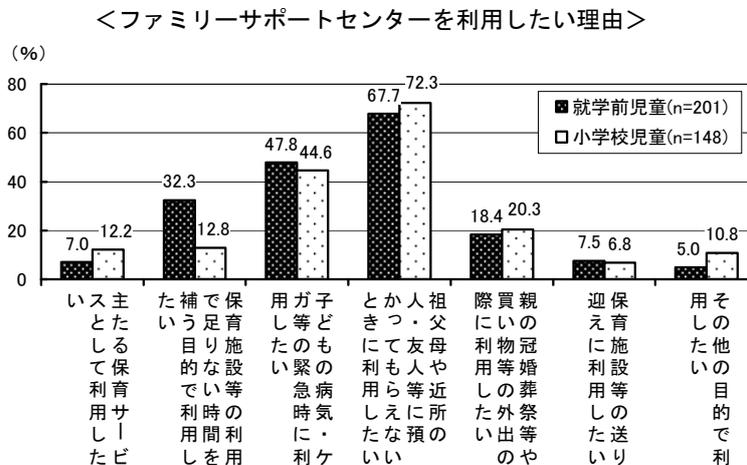
## (2) ファミリーサポートセンターの利用意向

ファミリーサポートセンターを実施した場合の利用意向をみると、「利用したい」と答えた人は就学前児童が40.2%、小学校児童は31.0%となっている。

なお、利用希望者における月あたり平均希望日数は、就学前児童が3.57日、小学校児童は3.71日となっている。



ファミリーサポートセンターを利用したい理由をみると、いずれも「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用したい」が最も多く、7割前後の人が理由にあげている。次いで「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用したい」をあげた人がいずれも4割以上みられる。また、就学前児童は「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用したい」(32.3%)をあげた人が3割以上みられる。

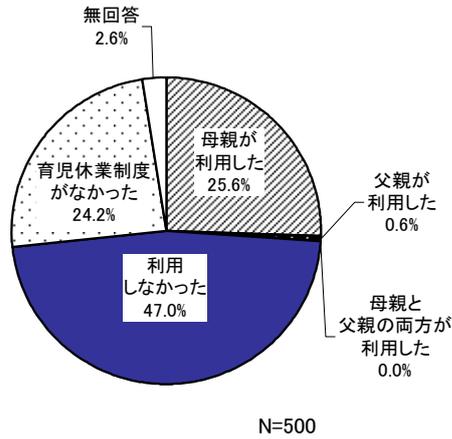


## 10. 育児休業制度の利用について

### (1) 育児休業制度の利用状況

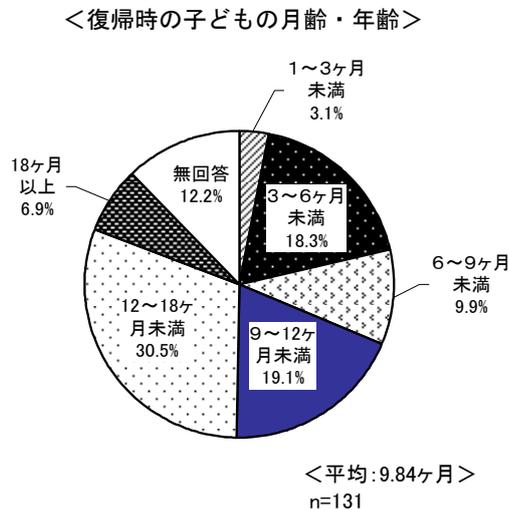
就学前児童の保護者における育児休業制度の利用状況をみると、「母親が利用した」(25.6%)、「父親が利用した」(0.6%)、「母親と父親の両方が利用した」(0.0%)を合わせた『利用経験者』は26.2%にとどまり、「利用しなかった」(47.0%)と答えた人が4割以上を占めている。また、「育児休業制度がなかった」と答えた人も24.2%みられる。

<育児休業制度の利用状況>

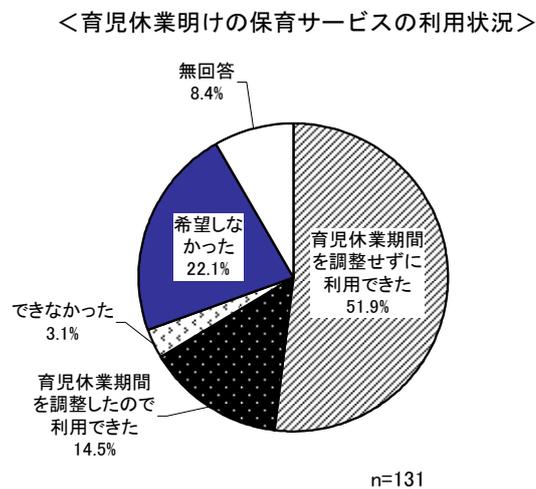


## (2) 育児休業制度利用後の復帰状況について

育児休業制度から復帰した時の子どもの月齢・年齢をみると、「12～18ヶ月未満」(30.5%)が最も多く、次いで「9～12ヶ月未満」(19.1%)、「3～6ヶ月未満」(18.3%)の順となっている。なお、平均は9.84ヶ月となっている。

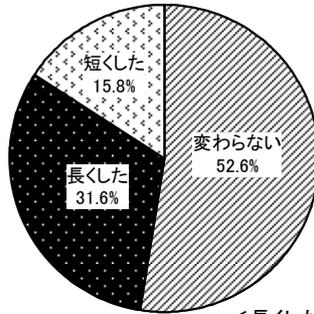


育児休業制度の利用経験者に育児休業明けの保育サービスがすぐ利用できたかを尋ねたところ、「育児休業期間を調整せずに利用できた」と答えた人は51.9%、「育児休業期間を調整したので利用できた」は14.5%で、両者を合わせた『保育サービス利用者』は66.4%となっている。なお、「できなかった」と答えた人は3.1%である。



保育サービスが確実に利用できた場合の育児休業期間の変更意向を尋ねたところ、「変わらない」(52.6%)が最も多く、次いで「長くした」(31.6%)、「短くした」(15.8%)の順となっている。  
なお、「長くした」と答えた人の期間は平均で7.17ヶ月、「短くした」と答えた人の期間は平均で4.67ヶ月となっている。

<保育サービスの確定による育児休業期間の変更意向>



<長くした平均:7.17ヶ月>

<短くした平均:4.67ヶ月>

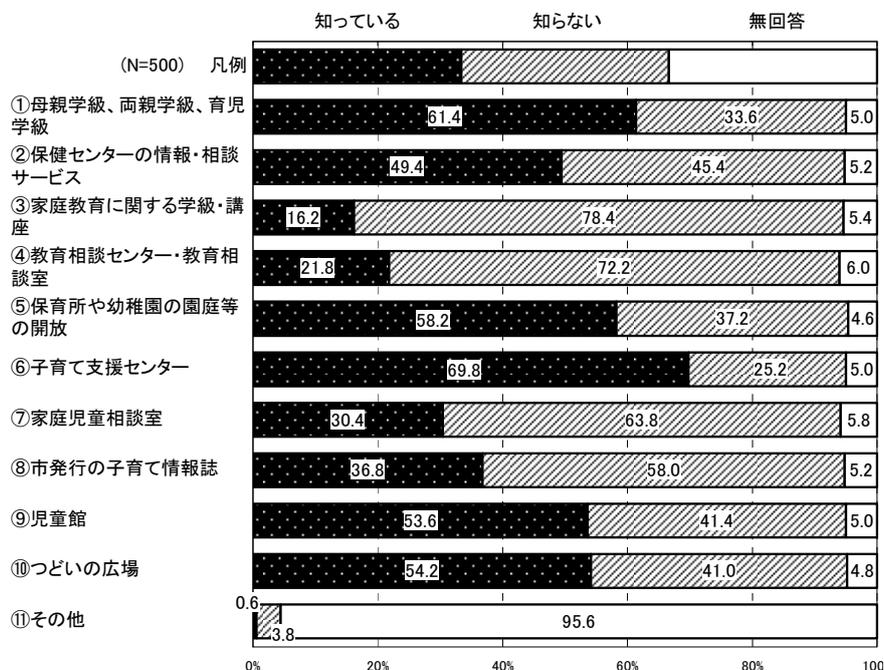
n=19

## 11. 子育て支援サービスについて

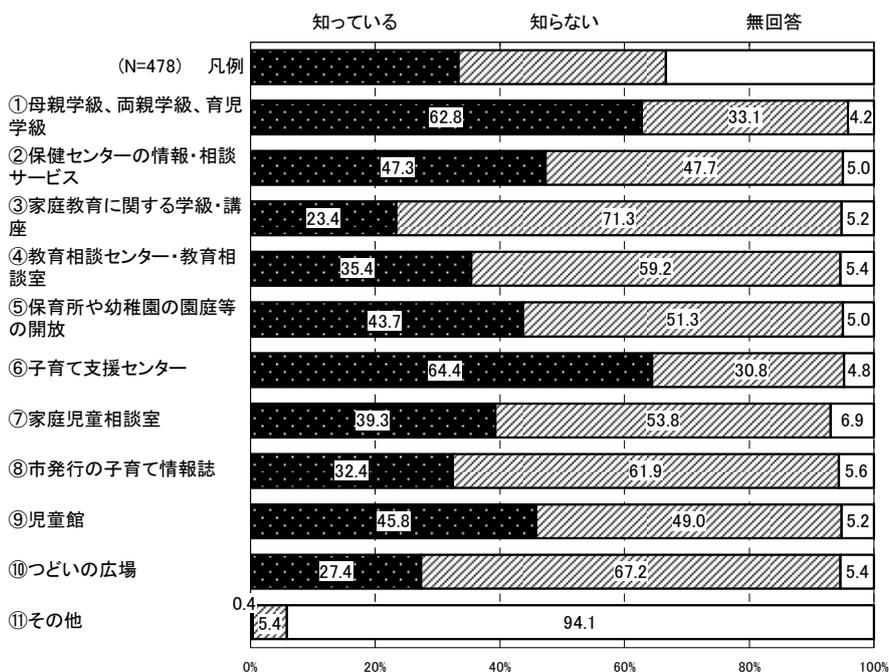
### (1) 子育て支援サービスの認知状況

子育て支援サービスの認知状況をみると、いずれも「子育て支援センター」が最も高く、次いで「母親学級、両親学級、育児学級」の順となっている。また、「保健センターの情報・相談サービス」、「児童館」、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」認知率が比較的高い。この他、就学前児童の保護者については「つどいの広場」(54.2%)の認知率も高くなっている。なお、最も認知率が低いのは、いずれも「家庭教育に関する学級・講座」となっている。

<子育て支援サービスの認知状況（就学前児童）>



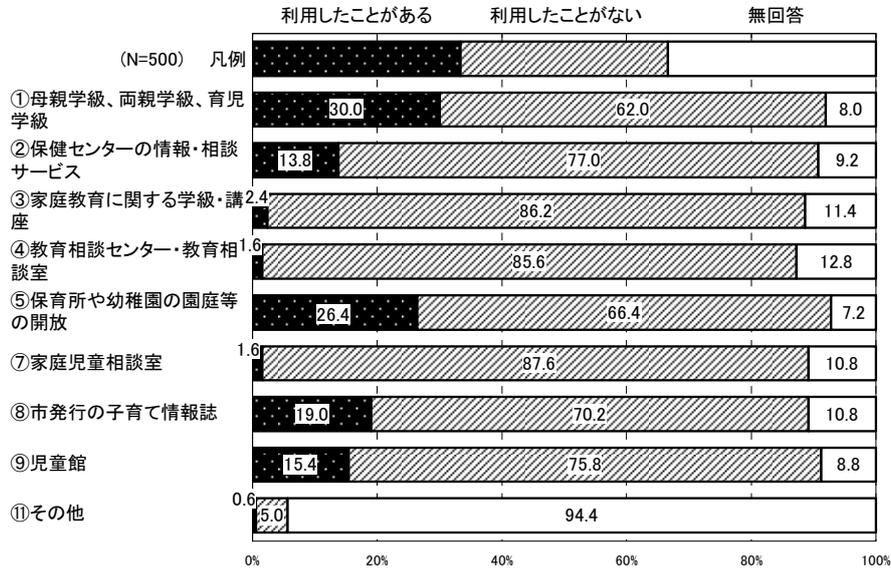
<子育て支援サービスの認知状況（小学校児童）>



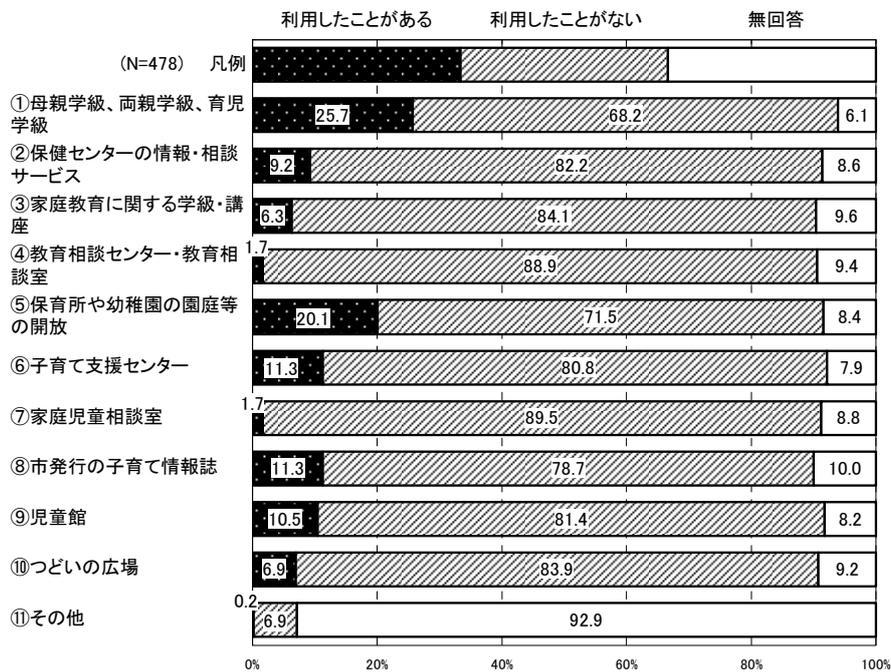
## (2) 子育て支援サービスの利用状況

子育て支援サービスの利用状況をみると、いずれも「母親学級、両親学級、育児学級」が最も高く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」の順となっている。

＜子育て支援サービスの利用状況（就学前児童）＞



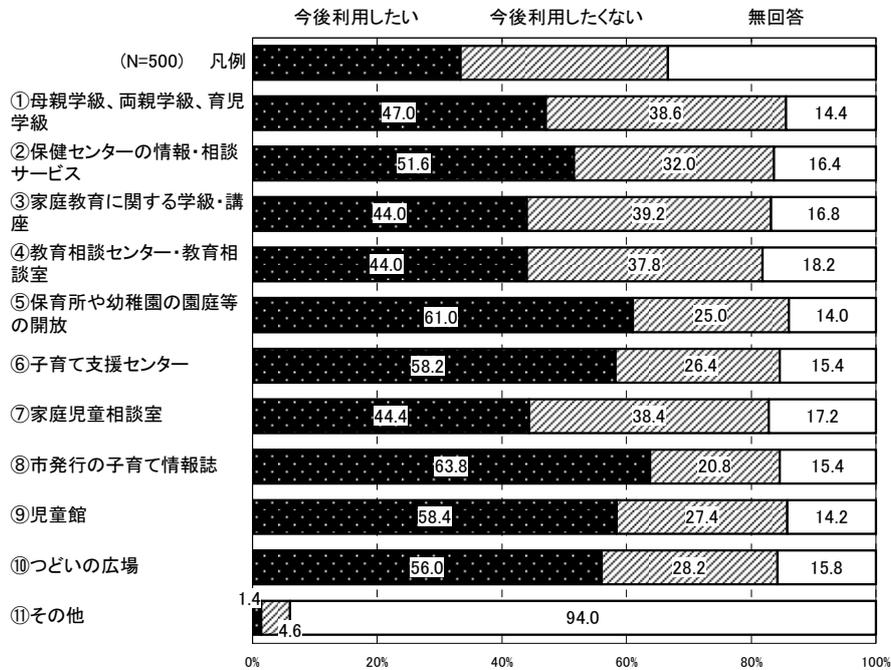
＜子育て支援サービスの利用状況（小学校児童）＞



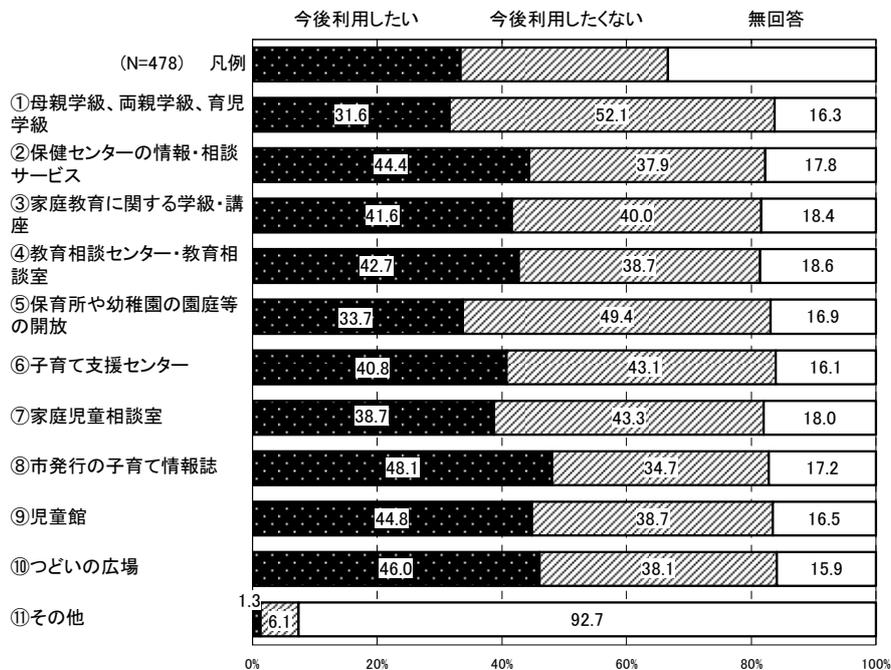
### (3) 子育て支援サービスの利用意向

子育て支援サービスの利用意向をみると、いずれも「市発行の子育て情報誌」が最も高く、就学前児童の保護者は63.8%、小学校児童の保護者も48.1%の人があげている。この他、「保健センターの情報・相談サービス」や「児童館」、「つどいの広場」の利用意向が高いが、相対的にみて就学前児童の保護者の方が小学校児童の保護者よりも利用意向は強い。

<子育て支援サービスの利用意向（就学前児童）>



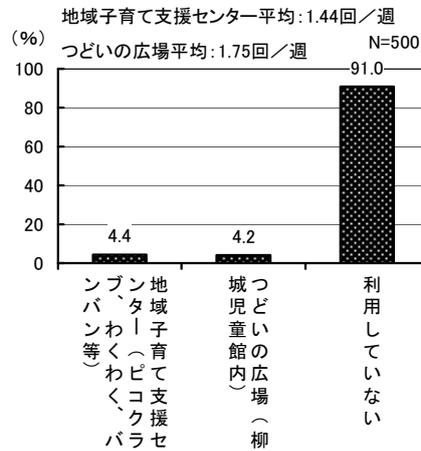
<子育て支援サービスの利用意向（小学校児童）>



#### (4) 地域子育て支援センター等の利用状況

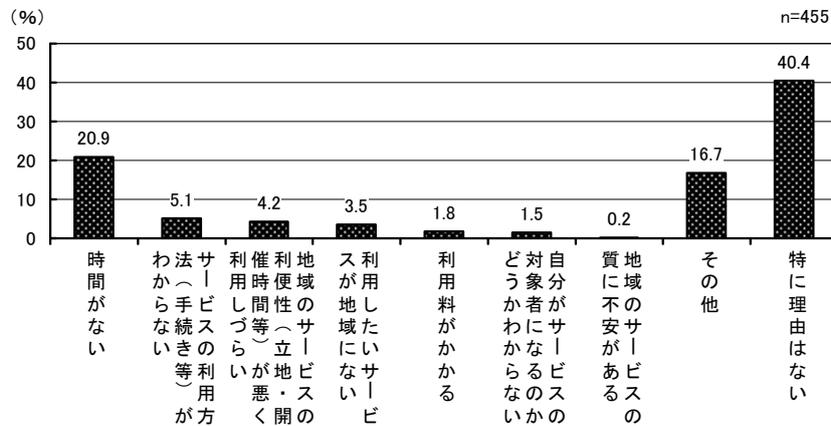
就学前児童の保護者における地域子育て支援拠点事業の利用状況をみると、「利用していない」と答えた人が91.0%と、9割を占めており、ほとんど利用されていないのが現状である。

＜地域子育て支援センターやつどいの広場の利用状況＞



地域子育て支援拠点事業を利用していない理由を尋ねたところ、「時間がない」(20.9%)が最も多く、突出している。また、「特に理由はない」(40.4%)と答えた人は4割を超えている。

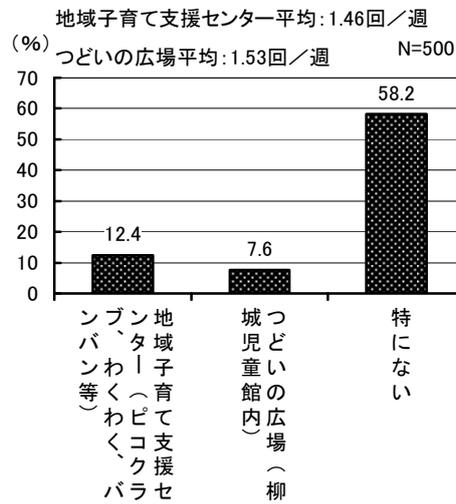
＜地域子育て支援センターやつどいの広場を利用していない理由＞



### (5) 地域子育て支援センター等の利用意向

就学前児童の保護者における地域子育て支援拠点事業の利用意向をみると、「特にない」と答えた人が58.2%と全体の5割を超えており、利用意向は地域子育てセンターが12.4%、つどいの広場は7.6%とどまっている。

＜地域子育て支援センター等の利用意向＞

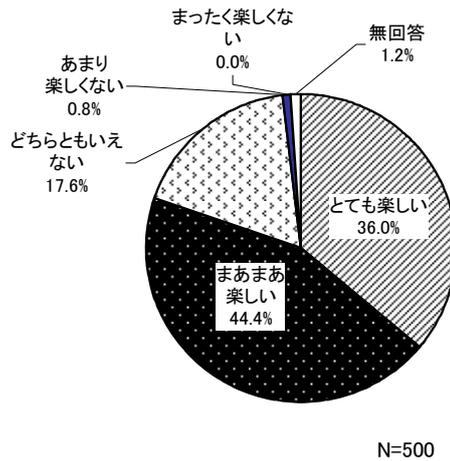


## 12. 子育ての悩みや相談について

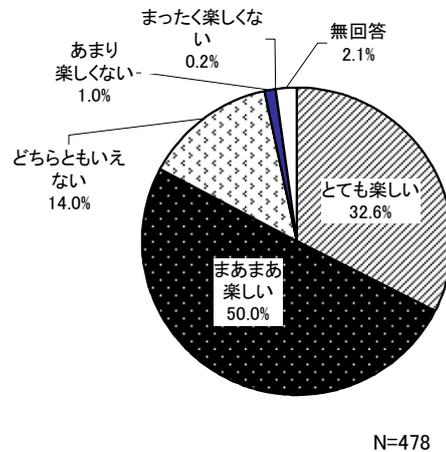
### (1) 子育ては楽しいかどうか

子育ては楽しいかどうか、就学前児童、小学校児童の保護者にそれぞれ尋ねたところ、「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」を合わせた『楽しい』と感じている人の割合は、就学前児童が80.4%、小学校児童は82.6%となっており、8割を超えている。なお、「あまり楽しくない」と「まったく楽しくない」を合わせた『楽しくない』と感じている人の割合をみると、就学前児童は0.8%、小学校児童も1.2%とわずかである。

<子育ては楽しいかどうか（就学前児童）>



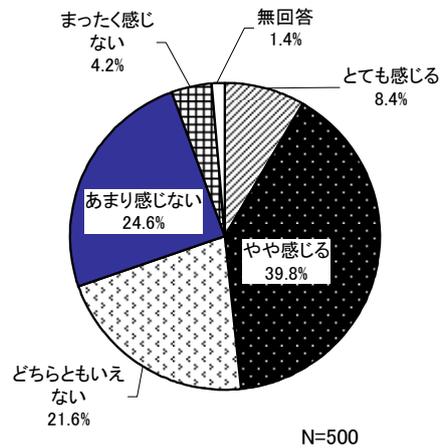
<子育ては楽しいかどうか（小学校児童）>



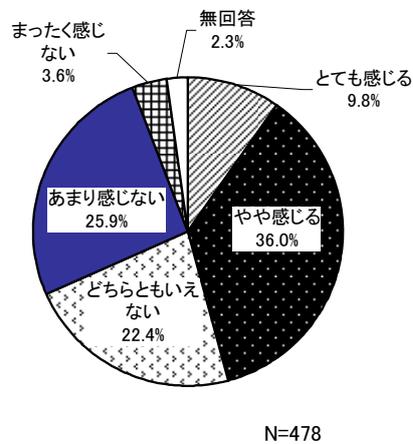
## (2) 子育てに対して不安感や負担感を感じるかどうか

子育てに対して不安感や負担感を感じるかどうか、就学前児童、小学校児童の保護者にそれぞれ尋ねたところ、「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた、不安感や負担感を『感じる』人の割合は、就学前児童が 48.2%、小学校児童は 45.8%となっており、全体の約半分の人は子育てに対して不安感や負担感を感じている状況にある。

<子育てに対して不安感や負担感を感じるかどうか（就学前児童）>



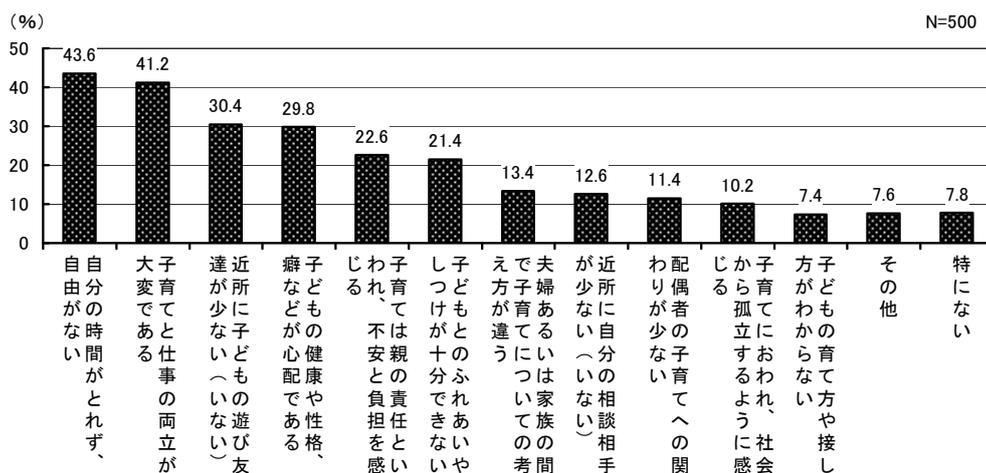
<子育てに対して不安感や負担感を感じるかどうか（小学校児童）>



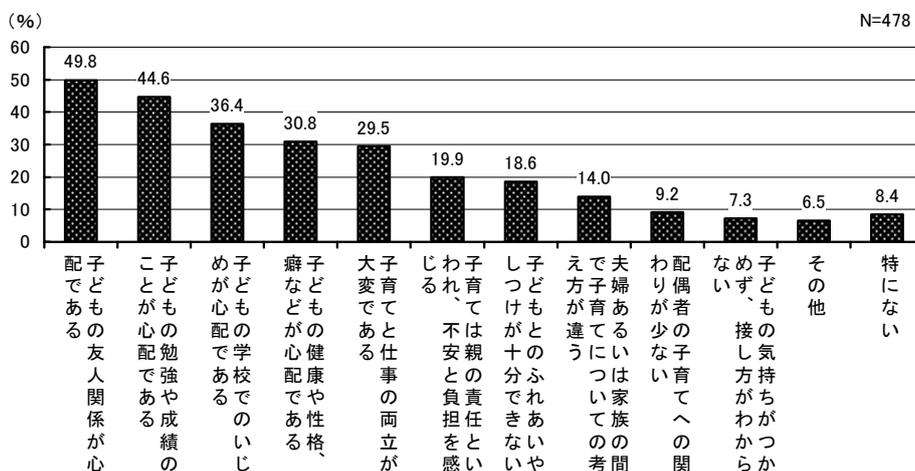
### (3) 子育てに関する悩み

子育てに関する悩みについて、就学前児童、小学校児童の保護者それぞれみると、就学前児童の保護者は「自分の時間がとれず、自由がない」(43.6%)が最も高く、次いで「子育てと仕事の両立が大変である」(41.2%)、「近所に子どもの遊び友達が少ない(いない)」(30.4%)、「子どもの健康や性格、癖などが心配である」(29.8%)などの順となっている。一方、小学校児童の保護者は「子どもの友人関係が心配である」(49.8%)が最も高く、次いで「子どもの勉強や成績のことが心配である」(44.6%)、「子どもの学校でのいじめが心配である」(36.4%)、「子どもの健康や性格、癖などが心配である」(30.8%)、「子育てと仕事の両立が大変である」(29.5%)などの順となっている。

<子育てに関する悩み(就学前児童)>

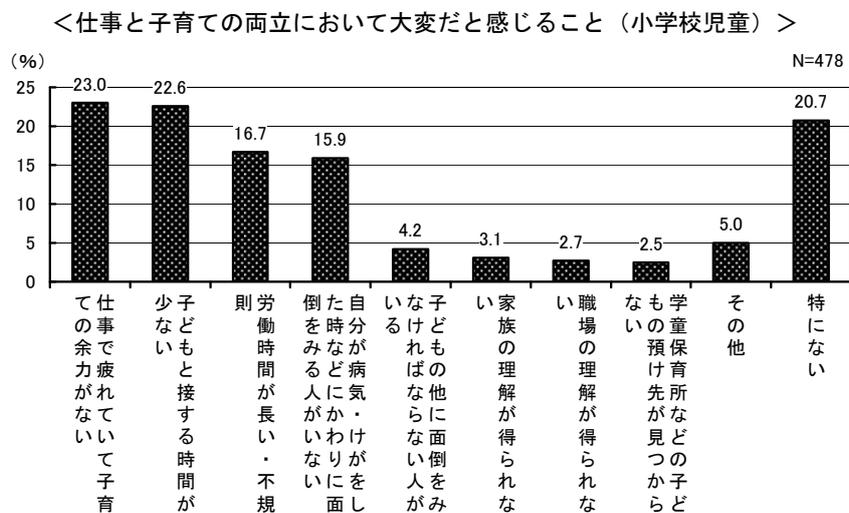
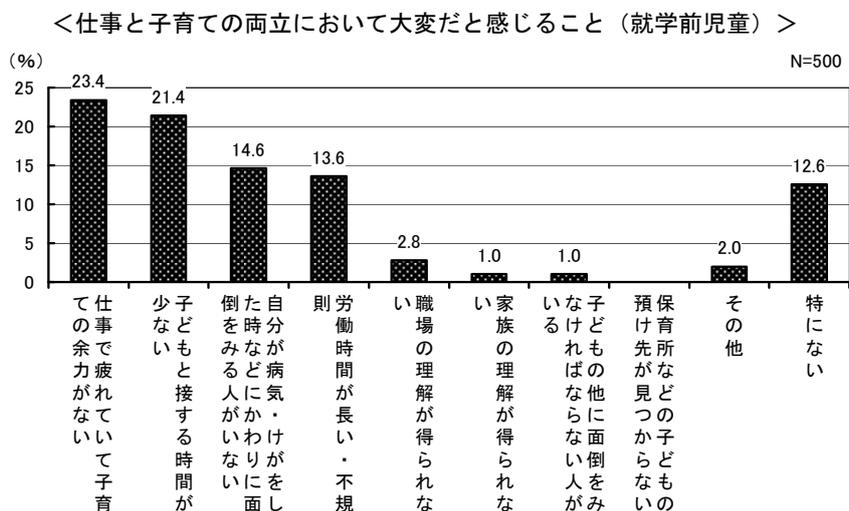


<子育てに関する悩み(小学校児童)>



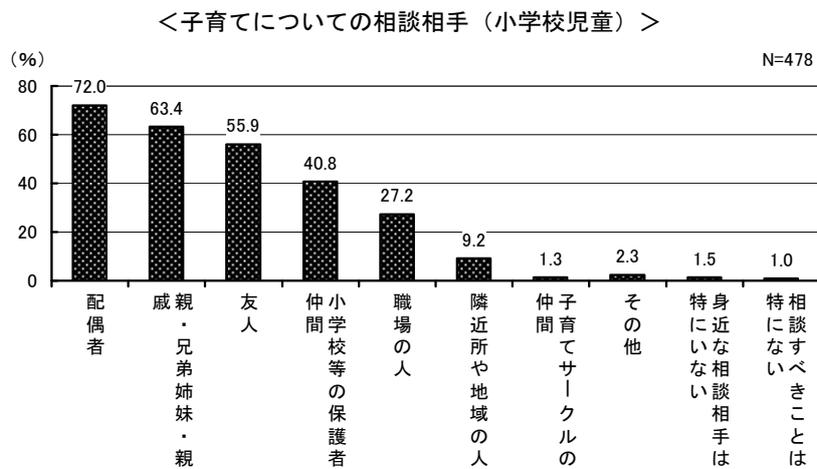
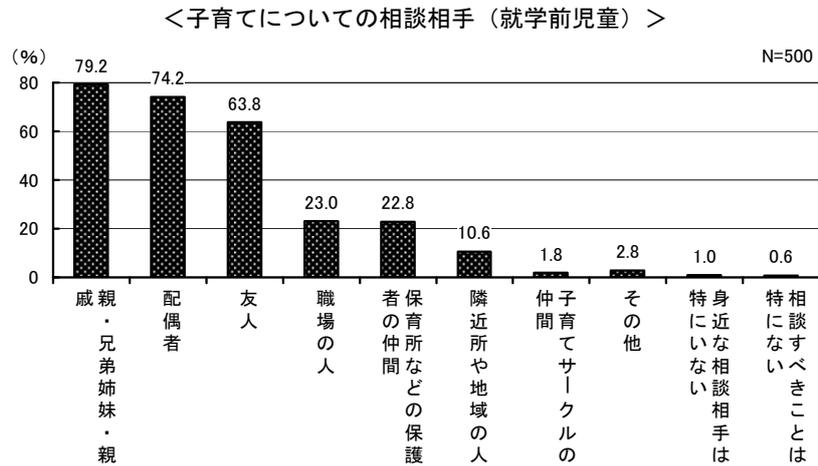
#### (4) 仕事と子育ての両立において、大変だと感じること

就労している就学前児童、小学校児童の保護者に、仕事と子育ての両立において大変だと感じることについて尋ねたところ、いずれも「仕事で疲れていて子育ての余力がない」が最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」の順となっている。また、「自分が病気・けがをした時などにかわりに面倒をみる人がいない」、「労働時間が長い・不規則」も比較的高くなっている。



## (5) 子育てについての相談相手

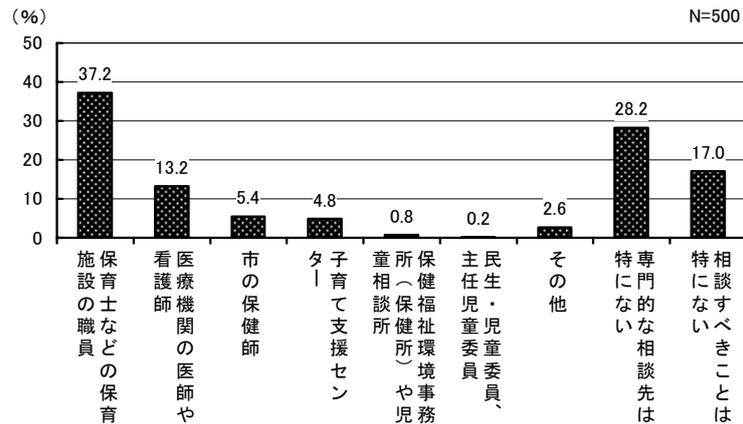
子育てについての相談相手について、就学前児童、小学校児童の保護者それぞれみると、就学前児童の保護者は「親・兄弟姉妹・親戚」(79.2%)が最も高く、次いで「配偶者」(74.2%)、「友人」(63.8%)などの順となっている。一方、小学校児童の保護者は「配偶者」(72.0%)が最も高く、次いで「親・兄弟姉妹・親戚」(63.4%)、「友人」(55.9%)、「小学校等の保護者仲間」(40.8%)などの順となっている。



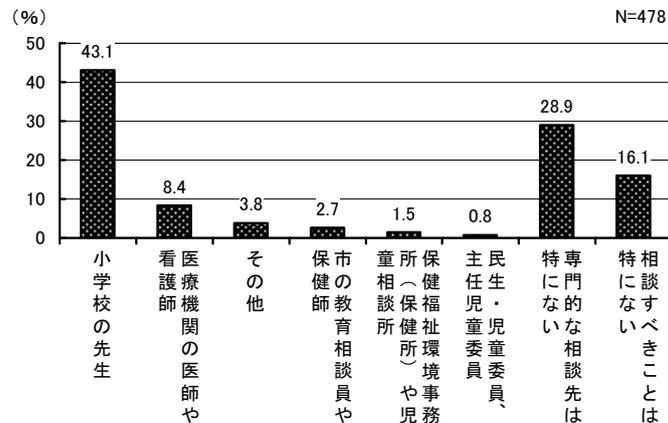
## (6) 専門的な相談先

子育てについての相談ができる専門的な相談先について、就学前児童、小学校児童の保護者それぞれみると、就学前児童の保護者は「保育士などの保育施設の職員」(37.2%)が最も多く、小学校児童の保護者も「小学校の先生」(43.1%)が最も多く、それぞれ突出している。なお、「専門的な相談先は特にない」と答えた人は、就学前児童の保護者が28.2%、小学校児童の保護者は28.9%、「相談すべきことは特にない」と答えた人は、就学前児童の保護者が17.0%、小学校児童の保護者は16.1%となっている。

<専門的な相談先（就学前児童）>



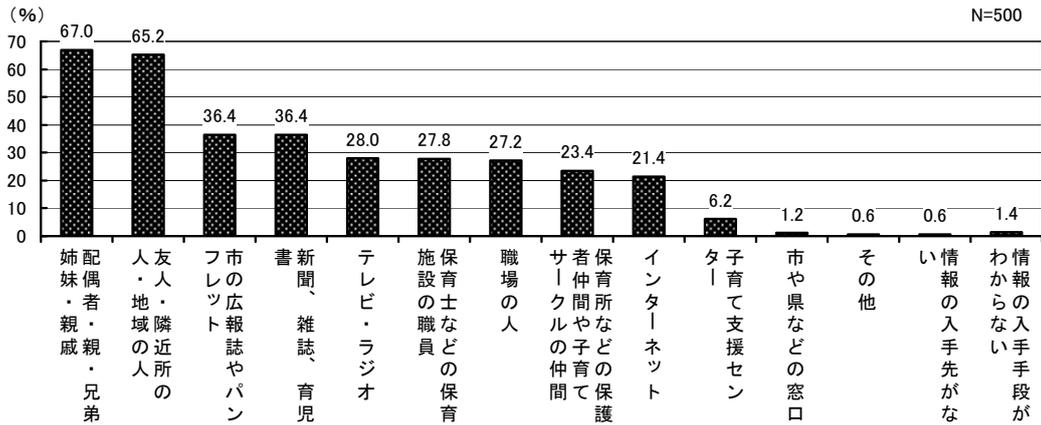
<専門的な相談先（小学校児童）>



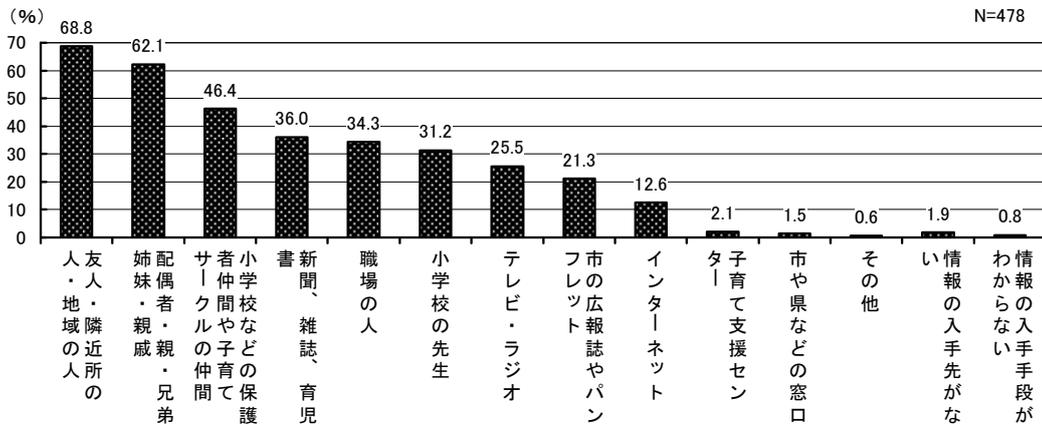
### (7) 子育てについての情報入手先

子育てについての情報入手先について、就学前児童、小学校児童の保護者それぞれみると、就学前児童の保護者は「配偶者・親・兄弟姉妹・親戚」(67.0%)が最も高く、次いで「友人・隣近所の人・地域の人」(65.2%)の順となっている。一方、小学校児童の保護者は「友人・隣近所の人・地域の人」(68.8%)が最も高く、次いで「配偶者・親・兄弟姉妹・親戚」(62.1%)、「小学校などの保護者仲間や子育てサークルの仲間」(46.4%)などの順となっている。

＜子育てについての情報入手先（就学前児童）＞



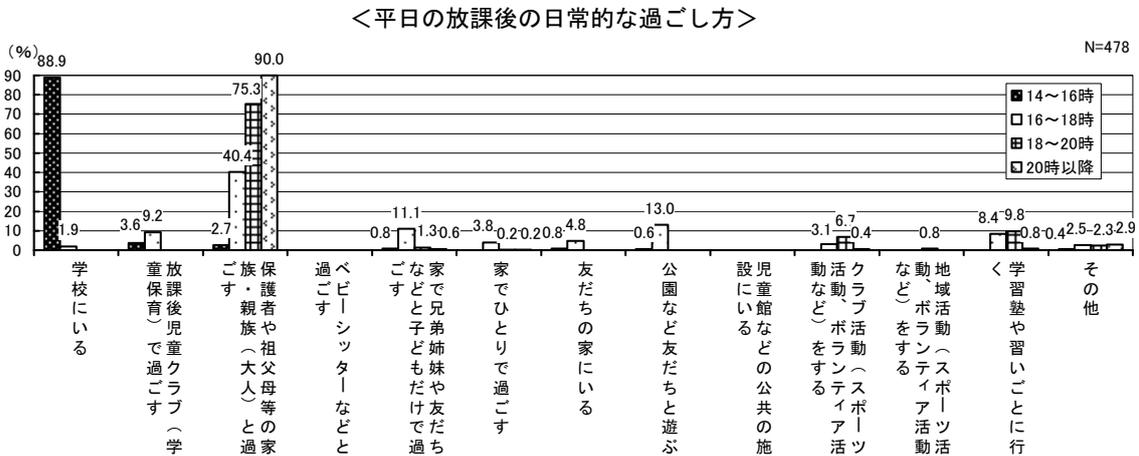
＜子育てについての情報入手先（小学校児童）＞



### 13. 子どもの居場所について

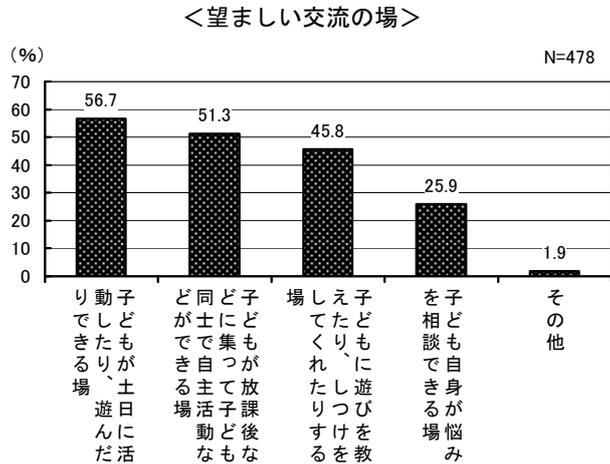
#### (1) 平日の放課後の日常的な過ごし方

小学校児童の平日の放課後の日常的な過ごし方について尋ねたところ、14～16時は「学校にいる」(88.9%)が最も高く、16時以降は「保護者や祖父母等の家族・親族(大人)と過ごす」がそれぞれ最も高くなっている。なお、16～18時において「家で兄弟姉妹や友達など子どもだけで過ごす」(11.1%)や、「家でひとりで過ごす」(3.8%)といった、子どもだけで過ごしている世帯がみられる。



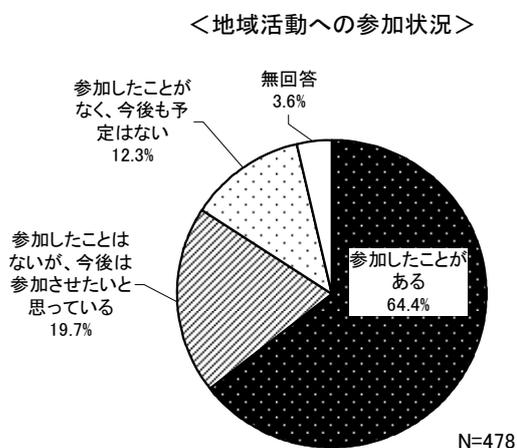
#### (2) 望ましい交流の場

小学校児童の保護者に、身近な地域で子ども同士が交流等を行うことのできる場ができるとしたら、どのようなものが望ましいか尋ねたところ、「子どもが土日に活動したり、遊んだりできる場」(56.7%)が最も高く、次いで「子どもが放課後などに集って子ども同士で自主活動できる場」(51.3%)、「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれたりする場」(45.8%)、「子ども自身が悩みを相談できる場」(25.9%)の順となっている。



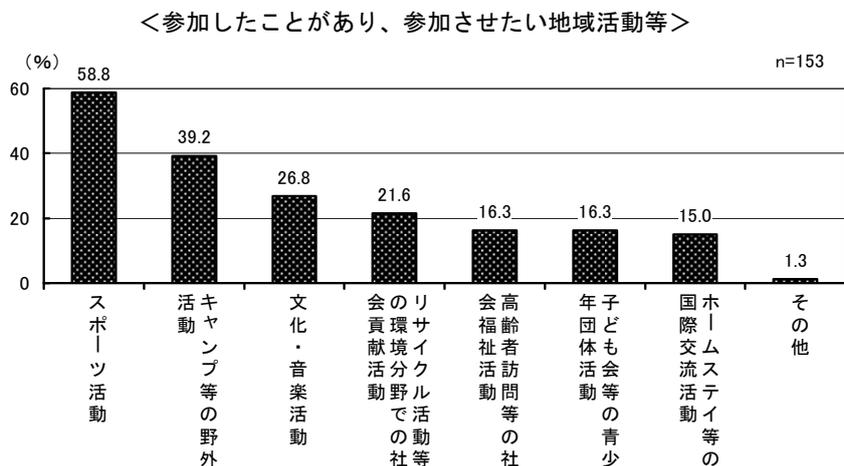
### (3) 子どもの地域活動への参加状況

小学校児童の保護者に、子どもの地域活動への参加状況について尋ねたところ、「参加したことがある」と答えた人は 64.4%、「参加したことがないが、今後は参加させたいと思っている」は 19.7%となっている。なお、「参加したことがなく、今後予定はない」と答えた人は 12.3%みられる。



### (4) 参加したことがある、参加させたい地域活動等

地域活動に参加したことがない人に、今後参加させたい地域活動やグループ活動について尋ねたところ、「スポーツ活動」(58.8%)が最も高く、約6割の人があげている。次いで「キャンプ等の野外活動」(39.2%)、「文化・音楽活動」(26.8%)、「リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動」(21.6%)などの順となっている。

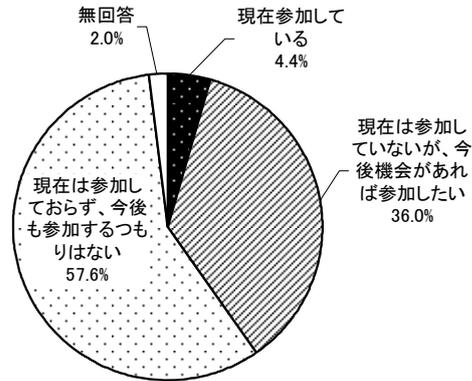


## 14. 子育てサークル等への参加について

### (1) 子育てサークル等への参加状況

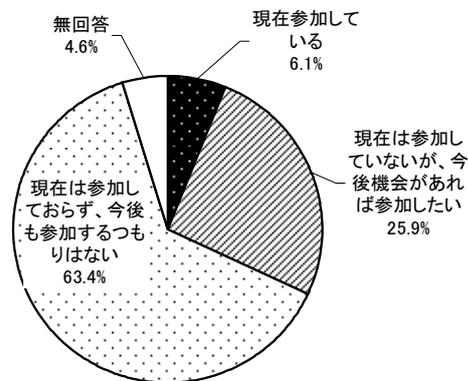
子育てサークル等への参加状況について、就学前児童、小学校児童の保護者それぞれみると、「現在参加している」と答えた人は、就学前児童の保護者が4.4%、小学校児童の保護者は6.1%と、いずれも1割を下回っている。なお、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」と答えた人は、就学前児童の保護者が36.0%、小学校児童の保護者は25.9%となっている。

<子育てサークル等への参加状況（就学前児童）>



N=500

<子育てサークル等への参加状況（小学校児童）>

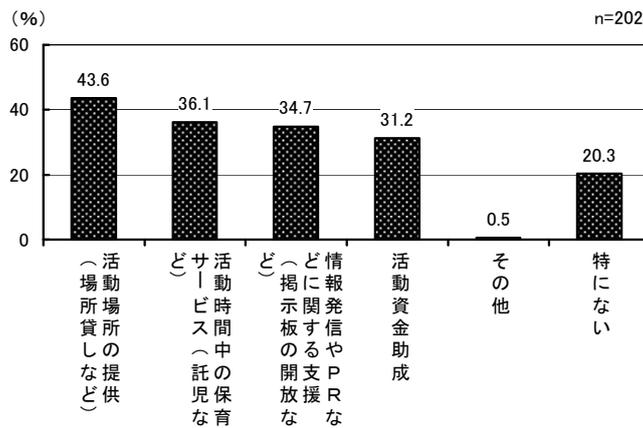


N=478

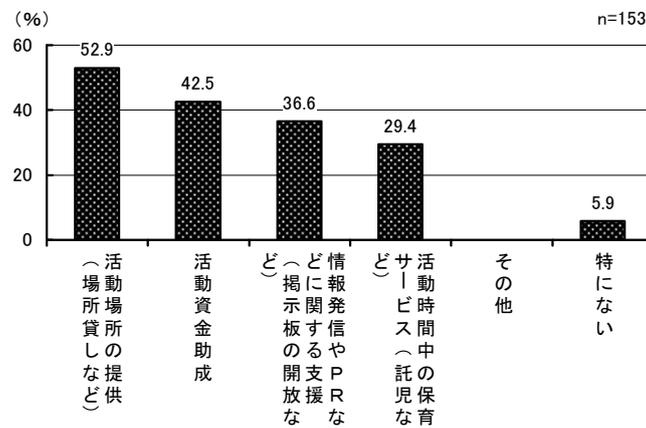
## (2) 行政に行ってほしい支援

自主活動をしていくにあたって、行政に行ってほしい支援について、就学前児童、小学校児童の保護者にそれぞれ尋ねたところ、就学前児童の保護者は「活動場所の提供（場所貸しなど）」（43.6%）が最も高く、次いで「活動時間中の保育サービス（託児など）」（36.1%）、「情報発信やPRなどに関する支援（掲示板の解放など）」（34.7%）、「活動資金助成」（31.2%）の順となっている。小学校児童の保護者についても、「活動場所の提供（場所貸しなど）」（52.9%）が最も高くなっているものの、割合は就学前児童よりも約9ポイント上回っている。次いで「活動資金助成」（42.5%）、「情報発信やPRなどに関する支援（掲示板の解放など）」（36.6%）、「活動時間中の保育サービス（託児など）」（29.4%）の順となっている。

<行政に行ってほしい支援（就学前児童）>



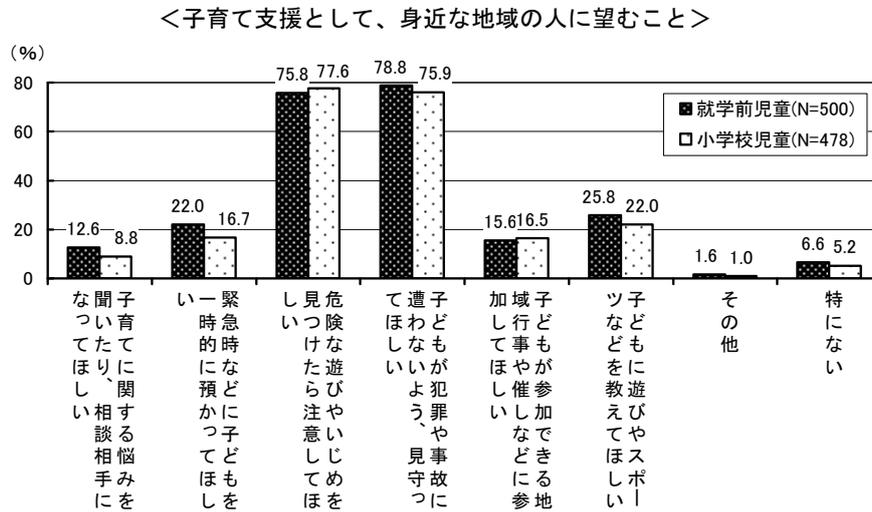
<行政に行ってほしい支援（小学校児童）>



## 15. その他、子育て支援全般について

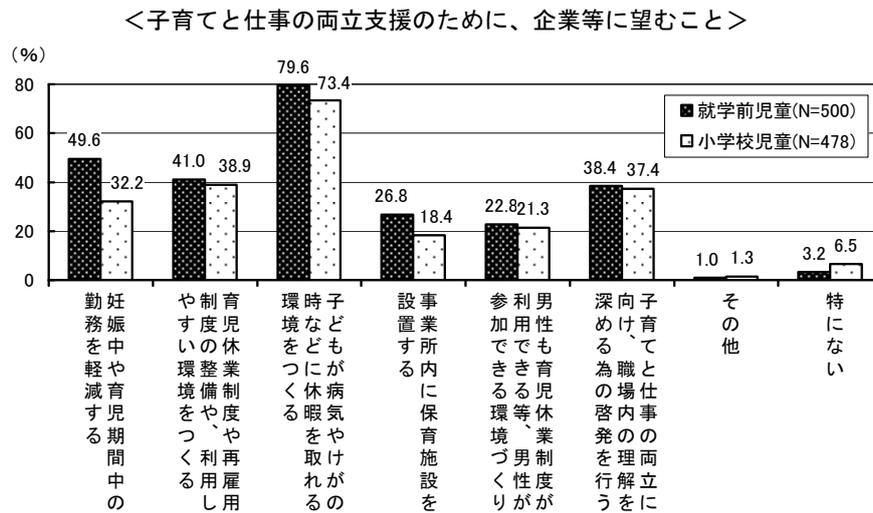
### (1) 子育て支援として、身近な地域の人に望むこと

子育て支援として、身近な地域の人に望むことを、就学前児童、小学校児童の保護者にそれぞれ尋ねたところ、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が高くなっており、これらの項目は就学前児童、小学校児童の保護者いずれも7割以上の人があげている。



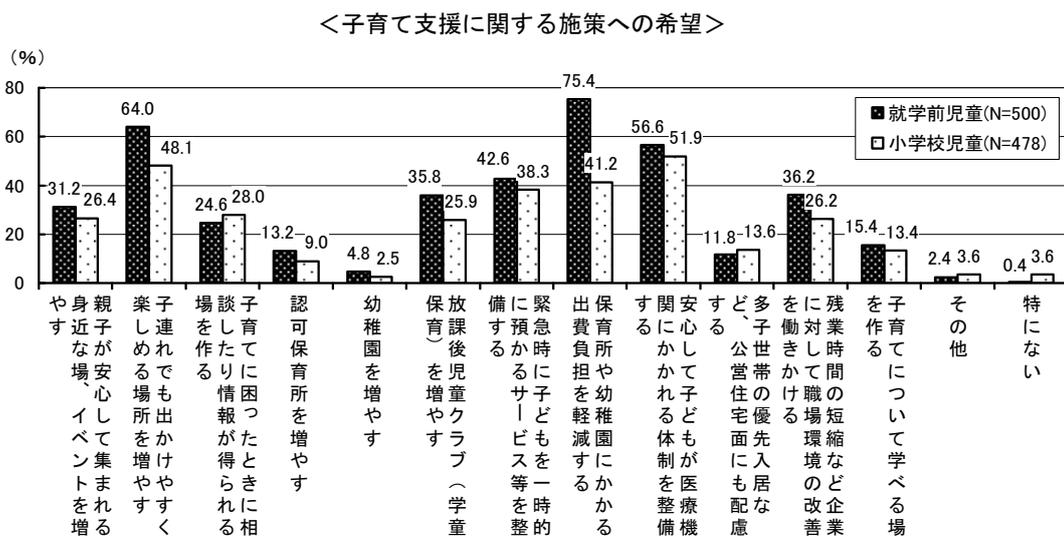
## (2) 子育てと仕事の両立支援のため企業等に望むこと

子育てと仕事の両立支援のために、企業等はどのようなことに取り組む必要があるか、就学前児童、小学校児童の保護者にそれぞれ尋ねたところ、いずれも「子どもが病気やけがの時などに休暇をとれる環境をつくる」が最も高く、7割以上の方があげている。他にも、「育児休業制度や再雇用制度の整備や、利用しやすい環境をつくる」、「子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深める為の啓発を行う」などが高くなっている。また、就学前児童の保護者は「妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する」(49.6%)を約5割の方があげている。



### (3) 子育て支援に関する施策への希望

子育て支援に関する施策について、どのようなことを望むか、就学前児童、小学校児童の保護者にそれぞれ尋ねたところ、就学前児童の保護者は「保育所や幼稚園にかかる出費負担を軽減する」(75.4%)が最も高く、小学校児童の保護者に比べて30ポイント以上も上回っている。次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす」(64.0%)、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備する」(56.6%)、「緊急時に子どもを一時的に預かるサービス等を整備する」(42.6%)などの順となっている。一方、小学校児童の保護者は「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備する」(51.9%)が最も高く、次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす」(48.1%)、「保育所や幼稚園にかかる出費負担を軽減する」(41.2%)、「緊急時に子どもを一時的に預かるサービス等を整備する」(38.3%)などの順となっている。



# 調 査 票

## 柳川市

### 次世代育成支援に関するニーズ調査（就学前児童用）

#### 【調査ご協力のお願い】

皆様には、日ごろより市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本市では子育て支援のための施策を実施しておりますが、次世代育成支援に関する行動計画の見直しに際して、市民の皆様の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、「次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査は、就学前のお子さんがある世帯にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の次世代育成支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 21 年 2 月

柳川市長 石田宝蔵

#### ※ご記入に際してのお願い

- (1) アンケート調査はあて名のお子さんの保護者の方が記入してください。
- (2) 就学前のお子さんが 2 人以上おられても、**あて名のお子さんの状況**をお答えください。
- (3) 回答は、あらかじめ用意された選択肢の中から、**あてはまる番号を○で囲んでください**。  
なお、質問によっては複数回答があります。
- (4) 回答した選択肢により、質問の進み方が異なる場合があります。矢印やことわり書きに注意してお進みください。
- (5) 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、( ) 内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- (6) 数字（年齢、時間など）をおうかがいする質問では、枠内に具体的な数字を記入してください。  
※時間の記入：24 時間制（例：午後 1 時→13 時）で記入
- (7) お子さんやご家族の年齢は、すべて**平成 21 年 4 月 1 日現在**で記入してください。
- (8) 記入が終わりましたら、恐縮ですがアンケート調査票を以下のように提出してください。  
**同封の返信用封筒に入れ、2 月 28 日（土）までにご投函ください**。なお、返信用封筒には切手は不要です。
- (9) 記入者の住所、氏名は調査票、返信用封筒ともにお書きにならなくて結構です。

※このアンケートに関するご質問は下記までご連絡下さい。

柳川市子育て支援課 子育て支援係

電話 73-8111 内線 154、155

<封筒のあて名のお子さんご家族の状況についておうかがいします。>

問1 あて名のお子さんの生年月をおうかがいします。

平成( )年( )月生まれ

問2 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢(平成21年4月1日現在の年齢)をご記入下さい。

( )人 末子の年齢( )歳

問3 あて名のお子さんとの同居・近居(概ね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況についておうかがいします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 父母同居        | 5. 祖母同居        |
| 2. 父同居(ひとり親家庭) | 6. 祖父近居        |
| 3. 母同居(ひとり親家庭) | 7. 祖母近居        |
| 4. 祖父同居        | 8. その他(具体的に: ) |

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                   |           |
|-----------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる           | → 問4-1へ進む |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる  |           |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる          | → 問4-2へ進む |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる |           |
| 5. いずれもない                         |           |

問4-1 (問4で「1.」または「2.」を選んだ方に) 祖父母に預かってもらっている状況について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない
2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他(具体的に: )

問4-2 (問4で「3.」または「4.」を選んだ方に) 友人や知人に預かってもらっている状況について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他(具体的に: )

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

1. 主に父親      2. 主に母親      3. 主に祖父母      4. その他（具体的に：      ）

問6 お住まいの地区としてあてまる番号に1つだけ○をつけてください。

- |          |           |          |           |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 1. 柳河校区  | 6. 昭代第一校区 | 11. 中島校区 | 16. 矢ヶ部校区 |
| 2. 城内校区  | 7. 昭代第二校区 | 12. 六合校区 | 17. ニツ河校区 |
| 3. 東宮永校区 | 8. 蒲池校区   | 13. 大和校区 | 18. 垂見校区  |
| 4. 矢留校区  | 9. 皿垣校区   | 14. 豊原校区 | 19. 中山校区  |
| 5. 両開校区  | 10. 有明校区  | 15. 藤吉校区 |           |

**<封筒のあて名のお子さんの親御さんの就労状況についておうかがいします。>**

問7 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）おうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。あわせて、（ ）に数字をご記入ください。※帰宅時間については、「夕方の4時」は「16時」のように24時間制でご記入ください。

（1）父親【母子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）  
→1週当たりの平均就労時間は（      ）時間、働いている日の平均的な帰宅時間は（      ）時
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）  
→1週当たり（      ）日、1日当たり（      ）時間  
→フルタイムへの転換希望がありますか。  
（1. 希望がある      2. 希望があるが予定はない      3. 希望はない）
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

（2）母親【父子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）  
→1週当たりの平均就労時間は（      ）時間、働いている日の平均的な帰宅時間は（      ）時
2. 就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）  
→1週当たり（      ）日、1日当たり（      ）時間  
→フルタイムへの転換希望がありますか。  
（1. 希望がある      2. 希望があるが予定はない      3. 希望はない）
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

問8へ進む

問8 (問7の「(2) 母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選んだ方に) 母親の就労希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. ある(すぐにでももしくは1年以内に希望がある) → **問8-1~問8-2へ進む**  
2. ある(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい) → **問8-1~問8-3へ進む**  
3. ない

問8-1 (問8で「1. ある(すぐにでももしくは1年以内に希望がある)」または「2. ある(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選んだ方に) 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. フルタイムによる就労  
2. パートタイム、アルバイト等による就労 → 週当たり( )日・1日当たり( )時間

問8-2 (問8で「1. ある(すぐにでももしくは1年以内に希望がある)」または「2. ある(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選んだ方に) 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い番号に1つだけ○をつけてください。

1. 保育サービス※が利用できれば就労したい  
2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない  
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない  
4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない  
5. その他(具体的に: )

※この調査での「保育サービス」とは、(認可保育園、認定子ども園、家庭的な保育(いわゆる保育ママ)、事業所内保育施設、市区町村等自治体の認証・認定保育施設、その他の保育施設、幼稚園(通常の就園時間)、幼稚園(通常の就園時間を延長して預かるサービス)、ベビーシッター、ファミリーサポートセンターで、定期的に受けているサービスをいいます。

問8-3 (問8で「2. ある(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選んだ方に) あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

( )歳になったとき

問9 あて名のお子さんの出産前後(前後それぞれ1年以内)に離職をしましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 離職した → **問9-1へ進む**  
2. 継続的に働いていた(転職も含む)  
3. 出産1年前はすでに働いていなかった

問9-1 (問9で「1. 離職した」を選んだ方に) 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近い番号に1つだけ○をつけてください。

1. 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた
3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない
5. いずれにしてもやめていた
6. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

**<保育サービスの利用についておうかがいします。>**

問10 あて名のお子さんの現在の保育サービス(問8-2の定義参照)の利用の有無についておうかがいします。日頃、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していらっしゃいますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用している → **問10-1へ進む**
2. 利用していない → **問10-4へ進む**

問10-1 (問10で「1. 利用している」を選んだ方に) あて名のお子さんは現在、そのような子育て支援サービスを利用していますか。不定期に利用されるものも含めてお答えください。次の中から利用されているものすべてに○をつけてください。

1. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
  2. 家庭的な保育 (保育ママ: 保育者の家庭等で子どもを預かるサービス)
  3. 事業所内保育施設 (企業が従業員用に運営する施設)
  4. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
  5. 認定こども園【共通利用時間のみの保育の利用】 (保育施設と幼稚園が一体化した施設)
  6. 認定こども園【共通利用時間(4時間程度)以上の保育の利用】 (保育施設と幼稚園が一体化した施設)
  7. その他の保育施設
  8. 幼稚園 (通常の就園時間)
  9. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かるサービス)
  10. ベビーシッター
  11. ファミリーサポートセンター (地域住民による子どもの預かりサービス)
- 問10-2~問10-3へ進む**

問 10-2 (問 10-1 で「1.」～「9.」を選んだ方に) 現在の保育サービスの利用状況についておうかがいします。1 週あたり何日、1 日あたり何時間 (何時から何時まで) 保育サービス (延長保育なども含めます) を利用していますか。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず 9:00～18:00 のように 24 時間制でご記入ください。

1 週あたり ⇒ ( ) 日

1 日あたり ⇒ ( ) 時 ( ) 分から ( ) 時 ( ) 分まで

問 10-3 (問 10-1 で「1.」～「9.」を選んだ方に) 利用されている理由についておうかがいします。もっともあてはまる番号に 1 つだけ O をつけてください。

●お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならない
4. 病気や障がいがある
5. 学生である
6. 1～5 までの事情はないが、子どもの教育のため
7. その他 (具体的に: )

問 10-4 (問 10 で、「2. 利用していない」を選んだ方に) 保育サービスを利用していない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に 1 つだけ O をつけてください。

1. (子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 預けたいが、保育サービスに空きがない
5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない
6. 預けたいが延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない
7. 預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない
8. 子どもがまだ小さいため ⇒ ( ) 歳くらいになったら預けようと考えている
9. その他 (具体的に: )

問 11 あて名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が足りていないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

**【日中の定期的保育】**

1. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
2. 家庭的な保育 (保育ママ：保育者の家庭等で子どもを預かるサービス)
3. 事業所内保育施設 (企業が従業員用に運営する施設)
4. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
5. 認定こども園【共通利用時間のみの保育の利用】 (保育施設と幼稚園が一体化した施設)
6. 認定こども園【共通利用時間 (4 時間程度) 以上の保育の利用】 (保育施設と幼稚園が一体化した施設)
7. その他の保育施設
8. 幼稚園 (通常の就園時間)
9. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かるサービス)
10. 延長保育
11. ベビーシッター

12. ファミリーサポートセンター (地域住民による子どもの預かりサービス)

**【その他保育】**

13. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを預かるサービス)
14. 病児・病後児保育 (子どもの病気時の保育)

**【その他】**

15. 特にない

問 11-1～問 11-2 へ進む

問 11-1 (問 11 で「1.」～「11.」を選んだ方に) 今後の利用希望についておうかがいします。1 週あたり何日、1 日あたり何時間 (何時から何時まで) 保育サービス (延長保育なども含めます) を希望しますか。( ) 内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず 9 : 00～18 : 00 (例) のように 24 時間制でご記入ください。

選択したサービス番号

1 週あたり ( ) 日

1 日あたり ( ) 時間 ⇒ ( ) 時 ( ) 分から ( ) 時 ( ) 分まで

選択したサービス番号

1 週あたり ( ) 日

1 日あたり ( ) 時間 ⇒ ( ) 時 ( ) 分から ( ) 時 ( ) 分まで

選択したサービス番号

1 週あたり ( ) 日

1 日あたり ( ) 時間 ⇒ ( ) 時 ( ) 分から ( ) 時 ( ) 分まで

問 11-2 (問 11 で「1.」～「11.」を選んだ方に) サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

●お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい
3. 就労予定がある／求職中である
4. そのうち就労したいと考えている
5. 就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい
6. 家族・親族などを介護しなければならない
7. 病気や障がいがある
8. 学生である／就学したい
9. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問 12 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど(一時的な利用は除きます)の利用希望がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

※保育サービスなどとは、保育所、幼稚園、認可外保施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

【土曜日】

1. ほぼ毎週利用したい  → 利用したい時間帯は
2. 月に 1～2 回は利用したい  ( ) 時 ( ) 分から ( ) 時 ( ) 分まで
3. 利用希望はない

【日曜日・祝日】

1. ほぼ毎週利用したい  → 利用したい時間帯は
2. 月に 1～2 回は利用したい  ( ) 時 ( ) 分から ( ) 時 ( ) 分まで
3. 利用希望はない

**<あて名のお子さんの病児・病後児保育についておうかがいします。>**

問 13 (保育サービスを利用している保護者の方に) この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービス(問 8-2 の定義参照)が利用できなかったことはありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. あった  → **問 13-1 へ進む**
2. なかった

問 13-1 (問 13 で「1. あった」を選んだ方に) この 1 年間の対処方法とそれぞれの日数をお答えください。  
 あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数をご記入ください。(半日程度についても 1 日としてカウントしてください)

1. 父親が休んだ	( ) 日
2. 母親が休んだ	( ) 日
3. (同居人を含む) 親族・知人に預けた	( ) 日
4. 就労していない保護者がみた	( ) 日
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育所で実施しているサービスを含む)	( ) 日
6. ベビーシッターを頼んだ	( ) 日
7. ファミリーサポートセンターにお願いした	( ) 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	( ) 日
9. その他 (具体的に: )	( ) 日

問 13-2 へ進む ←

問 13-2 (問 13-1 で「1.」～「3.」を選んだ方に) その際、できれば施設に預けたいと思った日数はどれくらいありますか。( ) 内に日数をご記入ください。※ない場合は「0」とご記入ください。

( ) 日

**<すべての方に、あて名のお子さんの一時預かりのことについておうかがいします。>**

問 14 この 1 年間で、私用 (買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など) やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。(半日程度についても 1 日としてカウントしてください)

1, ある ⇒ 年間 ( ) 日 → 問 14-1 へ進む

2. ない

問 14-1 (問 14 で「1. ある」を選んだ方に) 預けた日数を目的別にご記入ください。

①私用 (買物、習い事等)、リフレッシュ目的 ⇒ ( ) 日

②冠婚葬祭、子どもの親の病気 ⇒ ( ) 日

③就労 ⇒ ( ) 日

問 15 今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は ( ) 内に数字をご記入ください。※利用希望のない方、または増やす必要のない方は「0」とご記入ください。

月に ( ) 日くらい

**<すべての方に、あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについておうかがいします。>**

問 16 この 1 年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。あてはまる番号に 1 つだけ ○ をつけてください。

1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む） → **問 16-1 へ進む**  
2. なかった

問 16-1（問 16 で「1. あった」を選んだ方に）この 1 年間の対処方法とそれぞれの泊数はおおむね何日ですか。あてはまる番号 すべてに ○ をつけ、それぞれの日数をご記入ください。

- 1.（同居人を含む）親族・知人に預けた ⇒（ ）泊 → **問 16-2 へ進む**  
2. 保育サービス<sup>（※）</sup>を利用した ⇒（ ）泊  
3. 仕方なく子どもも同行させた ⇒（ ）泊  
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた ⇒（ ）泊  
5. その他（具体的に： ） ⇒（ ）泊

※ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど。

問 16-2（問 16-1 で「1.（同居人を含む）親族・知人に預けた」を選んだ方に）その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号に 1 つだけ ○ をつけてください。

1. 非常に困難                      2. どちらかという困難                      3. 特に困難ではない

**<来年度就学予定の児童をもつ保護者の方におうかがいします。>**

問 17 あて名のお子さんの小学校入学以降の放課後の過ごし方について、放課後児童クラブ<sup>※</sup>を利用したいと思いませんか。あてはまる番号に 1 つだけ ○ をつけてください。

- 1・利用したい ⇒ 週（ ）日くらい                      2. 利用予定はない

※放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子ども（おおむね 10 歳未満）の生活の場を提供するものです。

**<ベビーシッターについておうかがいします。>**

問 18 ベビーシッターを利用していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用している → **問 18-1~問 18-2 へ進む**

2. 利用していない → **問 19 へ進む**

問 18-1 (問 18 で「1. 利用している」を選んだ方に) どのような目的で利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. その他の目的で利用している

問 18-2 (問 18 で「1. 利用している」を選んだ方に) どれくらいの頻度で利用していますか。( ) 内に数字をご記入ください。

月に ( ) 日くらい

1 回あたり ( ) 時間程度

問 19 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。※利用希望のない方、または増やす必要のない方は「0」とご記入ください。

月に ( ) 日くらい

**<すべての方におうかがいします。>**

問 20 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援センターやつどいの広場を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)をご記入ください。

1. 地域子育て支援センター(ピコクラブ、わくわく、バンバン等) ⇒ 1 週あたり ( ) 回
2. つどいの広場(柳城児童館内) ⇒ 1 週あたり ( ) 回
3. 利用していない → **問 21-1 へ進む**

問 21 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。次の中から希望するものすべてに○をつけてください。また、希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

1. 地域子育て支援センター(ピコクラブ、わくわく、バンバン等) ⇒ 1 週あたり ( ) 回
2. つどいの広場(柳城児童館内) ⇒ 1 週あたり ( ) 回
3. 特にない

問 21-1 (問 20 で「3. 利用していない」を選んだ方に) 現在利用していない理由はどのようなことですか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用したいサービスが地域にない
2. 地域のサービスの質に不安がある
3. 地域のサービスの利便性(立地・開催時間・日数等)が悪く利用しづらい
4. 利用料がかかる
5. 自分がサービスの対象者になるのかどうかわからない
6. 時間がない
7. サービスの利用方法(手続き等)がわからない
8. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
9. 特に理由はない

**<すべての方に、『ファミリーサポートセンター』についておうかがいします。>**

ファミリーサポートセンターとは、地域において育児や介護の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、育児や介護について助け合う会員組織です。この事業は働く人々の仕事と子育てまたは介護の両立を支援することを目的としています。

問 22 あなたは『ファミリーサポートセンター』をご存知ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 知っている
2. 知らない

問 23 柳川市では『ファミリーサポートセンター』を実施していませんが、もし実施した場合、あなたは利用したいですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用したい → **問 23-1～問 23-2 へ進む**
2. 利用しない

問 23-1 (問 23 で「1. 利用したい」を選んだ方に) どのような目的で利用したいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 主たる保育サービスとして利用したい
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用したい(朝・夕等)
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用したい
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用したい
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用したい
6. 保育施設等の送り迎えに利用したい
7. その他の目的で利用したい

問 23-2 (問 22 で「1. 利用したい」を選んだ方に) どれくらいの頻度で利用したいですか。( ) 内に数字  
 をご記入ください。

月に ( ) 日くらい                      1 回あたり ( ) 時間程度

問 24 子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。

下記のサービスの認知状況と利用状況および今後の利用意向をお答えください。サービスごとに、A～  
 Cのそれぞれについて、いずれかに○をつけてください。

サービスの種類	A 認知状況		B 利用状況		C 利用意向	
	知っている	知らない	利用したことがある	利用したことがない	今後利用したい	今後利用したくない
①母親学級、両親学級、育児学級 ⇒	1	2	1	2	1	2
②保健センターの情報・相談サービス ⇒	1	2	1	2	1	2
③家庭教育に関する学級・講座 ⇒	1	2	1	2	1	2
④教育相談センター・教育相談室 ⇒	1	2	1	2	1	2
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放 ⇒	1	2	1	2	1	2
⑥子育て支援センター ⇒	1	2	/	/	1	2
⑦家庭児童相談室 ⇒	1	2	1	2	1	2
⑧市発行の子育て情報誌 ⇒	1	2	1	2	1	2
⑨児童館 ⇒	1	2	1	2	1	2
⑩つどいの広場 ⇒	1	2	/	/	1	2
⑪その他 ( ) ⇒	1	2	1	2	1	2

※子育て支援センター…子育て中の親子同士が交流したり、育児相談ができる場。  
 ※児童館…子どもに健全な遊びを提供して、その心身の健康を増進し情操を豊かにすることを目的とする施設。専門の職員が配置されている。  
 ※つどいの広場…身近な地域で親子が交流できる広場等。

<育児休業制度の利用についておうかがいします。>

問 25 あて名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用しましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 母親が利用した
2. 父親が利用した
3. 母親と父親の両方が利用した
4. 利用しなかった
5. 育児休業制度がなかった

問 25-1～問 25-2 へ進む

問 25-1 (問 25 で「1.」～「3.」を選んだ方に) 育児休業から復帰したとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。( ) 内に具体的に数字でご記入下さい。(お子さんが1歳以上の場合も月に換算してお答えください。「3.」を選んだ方は、最後の育児休業利用者が復帰された時についてお答えください。)

子どもは( )ヶ月だった

問 25-2 (問 25 で「1.」～「3.」を選んだ方に) 育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 育児休業期間を調整せずにできた
2. 育児休業期間を調整したのでできた
3. できなかった
4. 希望しなかった

問 25-3 へ進む

問 25-4 へ進む

問 25-3 (問 25-2 で「2. 育児休業期間を調整したのでできた」を選んだ方に) 育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、「2.」および「3.」を選んだ方は、( ) 内に数字をご記入ください。

1. 変わらない      2. 長くした ⇒ ( ) ヶ月      3. 短くした ⇒ ( ) ヶ月

問 25-4 (問 25-2 で「3. できなかった」を選んだ方に) どのように対応されましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 希望とは違う認可保育所を利用した
2. 事業所内の保育サービスを利用した
3. 上記以外の保育サービスを利用した
4. 家族等にみてもらうことで対応した
5. 仕事を辞めた

<子育てに関する悩みなどについておうかがいします。>

問 26 子育ては楽しいですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- |            |              |              |
|------------|--------------|--------------|
| 1. とても楽しい  | 3. どちらともいえない | 4. あまり楽しくない  |
| 2. まあまあ楽しい |              | 5. まったく楽しくない |

問 27 子育てに対して不安感や負担感を感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- |           |              |             |
|-----------|--------------|-------------|
| 1. とても感じる | 3. どちらともいえない | 4. あまり感じない  |
| 2. やや感じる  |              | 5. まったく感じない |

問 28 子育てをする上で、どのような悩みがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分の時間がとれず、自由がない
2. 子育てと仕事の両立が大変である
3. 子育てにおわれ、社会から孤立するようになる
4. 子育ては親の責任といわれ、不安と負担を感じる
5. 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考え方が違う
6. 配偶者の子育てへの関わりが少ない
7. 子どもとのふれあいやしつけが十分できない
8. 子どもの育て方や接し方がわからない
9. 近所に自分の相談相手が少ない（いない）
10. 近所に子どもの遊び友達が少ない（いない）
11. 子どもの健康や性格、癖などが心配である
12. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
13. 特にない

問 29 【現在就労されている回答者におうかがいします。】

仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることは何ですか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

1. 仕事で疲れて子育ての余力がない
2. 労働時間が長い・不規則
3. 自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に、かわりに面倒をみる人がいない
4. 家族の理解が得られない
5. 職場の理解が得られない
6. 子ども他に面倒をみななければならない人がいる
7. 保育所などの子どもの預け先が見つからない
8. 子どもと接する時間が少ない
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
10. 特にない

<子育てに関する情報収集や相談先などについておうかがいします。>

問 30 子育てについての悩みや不安の身近な相談相手はだれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1. 配偶者       | 6. 保育所などの保護者の仲間     |
| 2. 親・兄弟姉妹・親戚 | 7. 子育てサークルの仲間       |
| 3. 友人        | 8. その他（具体的に： _____） |
| 4. 隣近所や地域の人  | 9. 身近な相談相手は特にいない    |
| 5. 職場の人      | 10. 相談すべきことは特にない    |

問 31 子育てについての悩みや不安を相談できる専門的な相談先はありますか。あてまる番号すべてに○をつけてください。

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 保育士などの保育施設の職員        |
| 2. 市の保健師                |
| 3. 民生・児童委員、主任児童委員       |
| 4. 子育て支援センター            |
| 5. 保健福祉環境事務所（保健所）や児童相談所 |
| 6. 医療機関の医師や看護師          |
| 7. その他（具体的に： _____）     |
| 8. 専門的な相談先は特にない         |
| 9. 相談すべきことは特にない         |

問 32 子育てに関する情報をどこ（誰）から入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 配偶者・親・兄弟姉妹・親戚          | 8. 市の広報誌やパンフレット      |
| 2. 友人・隣近所の人・地域の人          | 9. テレビ・ラジオ           |
| 3. 職場の人                   | 10. 新聞、雑誌、育児書        |
| 4. 保育所などの保護者仲間や子育てサークルの仲間 | 11. インターネット          |
| 5. 保育士などの保育施設の職員          | 12. その他（具体的に： _____） |
| 6. 市や県などの窓口               | 13. 情報の入手先がない        |
| 7. 子育て支援センター              | 14. 情報の入手手段がわからない    |

**<子育てサークル等への参加状況についておうかがいします。>**

問 33 あなたは、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 現在、参加している
2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
3. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない

問 33-1 へ進む

問 33-1 (問 33 で「1.」または「2.」と答えた方に) 自主活動をしていくにあたって、行政に行ってほしい支援はどのようなものですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 活動場所の提供(場所貸しなど)
2. 情報発信やPRなどに関する支援(掲示板の開放など)
3. 活動時間中の保育サービス(託児など)
4. 活動資金助成
5. その他(具体的に: )
6. 特にない

**<子育て支援全般についておうかがいします。>**

問 34 子育て支援として、身近な地域の人に望むことがありますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 子育てに関する悩みを聞いたり、相談相手になってほしい
2. 緊急時などに子どもを一時的に預かってほしい
3. 危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい
4. 子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい
5. 子どもが参加できる地域行事や催しなどに参加してほしい
6. 子どもに遊びやスポーツなどを教えてほしい
7. その他(具体的に: )
8. 特にない

問 35 子育てと仕事の両立支援のために、企業等はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する（フレックスタイム制度や短時間勤務制度など）
2. 育児休業制度や再雇用制度の整備や、制度を利用しやすい環境をつくる
3. 子どもが病気やけがの時などに休暇を取れる環境をつくる
4. 事業所内に保育施設を設置する
5. 男性も育児休業制度が利用できるなど、子育てに男性が参加できる環境をつくる
6. 子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
8. 特にない

問 36 今後、行政はどのような子育て支援施策を充実すべきだと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親子が安心して集まれる身近な場、イベントを増やす
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす
3. 子育てに困ったときに相談したり情報が得られる場を作る
4. 認可保育所を増やす
5. 幼稚園を増やす
6. 放課後児童クラブ（学童保育）を増やす
7. 緊急時に子どもを一時的に預かるサービス等を整備する
8. 保育所や幼稚園にかかる出費負担を軽減する
9. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備する
10. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、公営住宅面にも配慮する
11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など企業に対して職場環境の改善を働きかける
12. 子育てについて学べる場を作る
13. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
14. 特にない



## 柳川市

### 次世代育成支援に関するニーズ調査（小学校児童用）

#### 【調査ご協力のお願い】

皆様には、日ごろより市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本市では子育て支援のための施策を実施しておりますが、次世代育成支援に関する行動計画の見直しに際して、市民の皆様の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、「次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査は、小学生のお子さんがある世帯にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の次世代育成支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 21 年 2 月

柳川市長 石田宝藏

#### ※ご記入に際してのお願い

- (1) アンケート調査はあて名のお子さんの保護者の方が記入してください。
- (2) 小学生のお子さんが 2 人以上おられてもあて名のお子さんの状況をお答えください。
- (3) 回答は、あらかじめ用意された選択肢の中から、あてはまる番号を○で囲んでください。  
なお、質問によっては複数回答があります。
- (4) 回答した選択肢により、質問の進み方が異なる場合があります。矢印やことわり書きに注意してお進みください。
- (5) 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、( ) 内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- (6) 数字（年齢、時間など）をおうかがいする質問では、枠内に具体的な数字を記入してください。  
※時間の記入：24 時間制（例：午後 1 時→13 時）で記入
- (7) お子さんやご家族の年齢は、すべて平成 21 年 4 月 1 日現在で記入してください。
- (8) 記入が終わりましたら、恐縮ですがアンケート調査票を以下のように提出してください。  
同封の返信用封筒に入れ、2 月 28 日（土）までにご投函ください。なお、返信用封筒には切手は不要です。
- (9) 記入者の住所、氏名は調査票、返信用封筒ともにお書きにならなくて結構です

※このアンケートに関するご質問は下記までご連絡下さい。

柳川市子育て支援課 子育て支援係

電話 73-8111 内線 154、155

<封筒のあて名のお子さんご家族の状況についておうかがいします。>

問1 あて名のお子さんの生年月をおうかがいします。

平成( )年( )月生まれ

問2 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢(平成21年4月1日現在の年齢)をご記入下さい。

( )人 末子の年齢( )歳

問3 あて名のお子さんとの同居・近居(概ね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況についておうかがいします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 父母同居        | 5. 祖母同居        |
| 2. 父同居(ひとり親家庭) | 6. 祖父近居        |
| 3. 母同居(ひとり親家庭) | 7. 祖母近居        |
| 4. 祖父同居        | 8. その他(具体的に: ) |

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                   |           |
|-----------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる           | → 問4-1へ進む |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる  |           |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる          | → 問4-2へ進む |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる |           |
| 5. いずれもない                         |           |

問4-1(問4で「1.」または「2.」を選んだ方に) 祖父母に預かってもらっている状況について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない
2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他(具体的に: )

問4-2(問4で「3.」または「4.」を選んだ方に) 友人や知人に預かってもらっている状況について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他(具体的に: )

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

1. 主に父親      2. 主に母親      3. 主に祖父母      4. その他（具体的に：      ）

問6 お住まいの地区としてあてまる番号に1つだけ○をつけてください。

- |          |           |          |           |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 1. 柳河校区  | 6. 昭代第一校区 | 11. 中島校区 | 16. 矢ヶ部校区 |
| 2. 城内校区  | 7. 昭代第二校区 | 12. 六合校区 | 17. ニツ河校区 |
| 3. 東宮永校区 | 8. 蒲池校区   | 13. 大和校区 | 18. 垂見校区  |
| 4. 矢留校区  | 9. 皿垣校区   | 14. 豊原校区 | 19. 中山校区  |
| 5. 両開校区  | 10. 有明校区  | 15. 藤吉校区 |           |

**<封筒のあて名のお子さんの親御さんの就労状況についておうかがいします。>**

問7 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）おうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。あわせて、（ ）内に数字をご記入ください。※帰宅時間については、「夕方の4時」は「16時」のように24時間制でご記入ください。

（1）父親【母子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）  
→1週当たりの平均就労時間は（      ）時間、働いている日の平均的な帰宅時間は（      ）時
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）  
→1週当たり（      ）日、1日当たり（      ）時間  
→フルタイムへの転換希望がありますか。  
（1. 希望がある      2. 希望があるが予定はない      3. 希望はない）
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

（2）母親【父子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）  
→1週当たりの平均就労時間は（      ）時間、働いている日の平均的な帰宅時間は（      ）時
2. 就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）  
→1週当たり（      ）日、1日当たり（      ）時間  
→フルタイムへの転換希望がありますか。  
（1. 希望がある      2. 希望があるが予定はない      3. 希望はない）
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない  → **問8へ進む**

問8 (問7の「(2) 母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選んだ方に) 母親の就労希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. ある(すぐにでももしくは1年以内に希望がある) → 問8-1~問8-2へ進む
2. ある(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい) → 問8-1~問8-3へ進む
3. ない

問8-1 (問8で「1. ある(すぐにでももしくは1年以内に希望がある)」または「2. ある(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選んだ方に) 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. フルタイムによる就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労 ⇒ 週当たり( )日・1日当たり( )時間

問8-2 (問8で「1. ある(すぐにでももしくは1年以内に希望がある)」または「2. ある(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選んだ方に) 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い番号に1つだけ○をつけてください。

1. 放課後児童クラブなどのサービスが利用できれば就労したい
2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない
5. その他(具体的に: )

問8-3 (問8で「2. ある(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選んだ方に) あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

( )歳になったとき

### <放課後児童クラブの利用についておうかがいします。>

問9 あて名のおさんは、現在、放課後児童クラブ※を利用していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用している → 問9-1へ進む
2. 利用していない → 問9-2~問9-3へ進む

※放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下で、子ども(おおむね10歳未満)の生活の場を提供するものです。問9-5の「放課後子ども教室」と連携して実施されている場合があります。

問9-1 (問9で「1. 利用している」を選んだ方に) あて名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。また、利用している理由についてもっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

週( )日くらい ⇒ うち土曜日の利用(1. ある 2. ない)

●お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある/求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならない
4. 病気や障がいがある
5. 学生である
6. その他(具体的に: )

問9-2 (問9で「2. 利用していない」を選んだ方に) 利用していない理由についてもっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

●お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労していない
2. 就労しているが、放課後児童クラブを知らなかった
3. 就労しているが、近くに放課後児童クラブがない
4. 就労しているが、放課後児童クラブに空きがない
5. 就労しているが、放課後児童クラブの開所時間が短い
6. 就労しているが、利用料がかかる
7. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしている
8. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う
9. 就労しているが、他の施設に預けている
10. その他(具体的に: )

問9-3 (問9で「2. 利用していない」を選んだ方に) あて名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、あわせて利用希望日数と土曜日の希望をお答えください。

1. 利用したい ⇒ 週( )日くらい

うち土曜日の利用希望(1. ある 2. ない)

2. 今後も利用しない

問9-4へ進む

問9-4 (問9-3で「1. 利用したい」を選んだ方に) 今後放課後児童クラブを利用したい理由について、もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

●お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. そのうち就労したいと考えている
4. 家族・親族などを介護しなければならない
5. 病気や障がいがある
6. 学生である
7. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
8. その他(具体的に： \_\_\_\_\_ )

問9-5 地域によっては、放課後児童クラブと連携して行うサービスとして『放課後子ども教室<sub>※</sub>』がありますが、その利用意向はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、意向がある場合はあわせて希望日数もご記入ください。

1. 意向がある ⇒ 週( \_\_\_\_\_ )日くらい
2. 意向がない
3. 対象のサービスがない

※放課後子ども教室…すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をするものです。

問10 あて名のお子さんについておうかがいします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 放課後児童クラブを利用したい ⇒ 小学( \_\_\_\_\_ )年生まで利用したい
2. 放課後子ども教室を利用したい
3. クラブ活動など習い事をさせたい
4. 利用を希望するサービスは特にならない
5. その他(具体的に： \_\_\_\_\_ )

**<あて名のお子さんの病児・病後児の対応についておうかがいします。>**

問 11 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければなかったことはありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. あった → **問 11-1 へ進む**  
 2. なかった

問 11-1 (問 11 で「1. あった」を選んだ方に) この1年間の対処方法とそれぞれの日数をお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数をご記入ください。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

1. 父親が休んだ ( ) 日  
 2. 母親が休んだ ( ) 日  
 3. (同居人を含む) 親族・知人に預けた ( ) 日  
 4. 就労していない保護者がみた ( ) 日  
 5. 病児・病後児の保育サービスを利用した(保育所で実施しているサービスを含む) ( ) 日  
 6. ベビーシッターを頼んだ ( ) 日  
 7. ファミリーサポートセンターにお願いした(地域住民による子どもの預かりサービス) ( ) 日  
 8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた ( ) 日  
 9. その他(具体的に: ) ( ) 日

**問 11-2 へ進む**

問 11-2 (問 11-1 で「1.」～「3.」を選んだ方に) その際、できれば施設に預けたいと思った日数はどれくらいありますか。( ) 内に日数をご記入ください。※ない場合は「0」とご記入ください。

( ) 日

**<すべての方に、あて名のお子さんの一時預かりのことについておうかがいします。>**

問 12 この1年間で、私用(買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など)やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

1. ある ⇒ 年間( )日 → **問 12-1 へ進む**  
 2. ない

問 12-1 (問 12 で「1. ある」を選んだ方に) 預けた日数を目的別にご記入ください。

- ①私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的 ⇒ ( ) 日  
 ②冠婚葬祭、子どもの親の病気 ⇒ ( ) 日  
 ③就労 ⇒ ( ) 日

問 13 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。※利用希望のない方、または増やす必要のない方は「0」とご記入ください。

月に（ ）日くらい

**<すべての方に、あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについておうかがいします。>**

問 14 この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む） → **問 14-1 へ進む**  
2. なかった

問 14-1（問 14で「1. あった」を選んだ方に）この1年間の対処方法とそれぞれの泊数はおおむね何日ですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数をご記入ください。

1. （同居人を含む）親族・知人に預けた ⇒（ ）泊 → **問 14-2 へ進む**  
2. 保育サービス※を利用した ⇒（ ）泊  
3. 仕方なく子どもも同行させた ⇒（ ）泊  
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた ⇒（ ）泊  
5. その他（具体的に： ）⇒（ ）泊

※ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど。

問 14-2（問 14-1で「1.（同居人を含む）親族・知人に預けた」を選んだ方に）その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 非常に困難                      2. どちらかという困難                      3. 特に困難ではない

**<すべての方に、ベビーシッターについておうかがいします。>**

問 15 ベビーシッターを利用していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用している → **問 15-1～問 15-2 へ進む**                      2. 利用していない → **問 16 へ進む**

問 15-1（問 15で「1. 利用している」を選んだ方に）どのような目的で利用していますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している  
2. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している  
3. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している  
4. その他の目的で利用している

問 15-2 (問 15 で「1. 利用している」を選んだ方に) どれくらいの頻度で利用していますか。( ) 内に数字をご記入ください。

月に ( ) 日くらい 1 回あたり ( ) 時間程度

問 16 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。※利用希望のない方、または増やす必要のない方は「0」とご記入ください。

月に ( ) 日くらい

**<すべての方に、『ファミリーサポートセンター』についておうかがいします。>**

ファミリーサポートセンターとは、地域において育児や介護の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、育児や介護について助け合う会員組織です。この事業は働く人々の仕事と子育てまたは介護の両立を支援することを目的としています。

問 17 あなたは『ファミリーサポートセンター』をご存知ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 知っている 2. 知らない

問 18 柳川市では『ファミリーサポートセンター』を実施していませんが、もし実施した場合、あなたは利用したいですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用したい → **問 18-1～問 18-2 へ進む** 2. 利用しない

問 18-1 (問 18 で「1. 利用したい」を選んだ方に) どのような目的で利用したいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 主たる保育サービスとして利用したい
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用したい(朝・夕等)
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用したい
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用したい
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用したい
6. 保育施設等の送り迎えに利用したい
7. その他の目的で利用したい

問 18-2 (問 18 で「1. 利用したい」を選んだ方に) どれくらいの頻度で利用したいですか。( ) 内に数字をご記入ください。

月に ( ) 日くらい 1 回あたり ( ) 時間程度

<子どもの居場所についておうかがいします。>

問 19 あて名のお子さんの平日の放課後の日常的な過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとにあてはまるものを下記の枠内よりそれぞれ1つずつ選び、番号をご記入ください。

14～16時	16～18時	18～20時	20時以降

※時間帯ごとに、番号を枠内に記入してください。

1. 学校にいる
2. 放課後児童クラブ（学童保育）で過ごす
3. 保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす
4. ベビーシッターなどと過ごす
5. 家で兄弟姉妹や友だちなどと子どもだけで過ごす
6. 家でひとりで過ごす
7. 友だちの家にいる
8. 公園など外で友だちと遊ぶ
9. 児童館などの公共の施設にいる
10. クラブ活動（スポーツ活動、ボランティア活動など）をする
11. 地域活動（スポーツ活動、ボランティア活動など）をする
12. 学習塾や習いごとに行く
13. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問 20 身近な地域で子ども同士が交流等を行うことのできる場ができるとしたら、どのようなものが望ましいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれたりする場
2. 子どもが放課後などに集って、子ども同士で自主活動などができる場
3. 子どもが土日に活動したり、遊んだりできる場
4. 子ども自身が悩みを相談できる場
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

<子どもの地域活動への参加状況についておうかがいします。>

問 21 あて名のお子さんは地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 参加したことがある
2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている
3. 参加したことがなく、今後も予定はない

問 21-1 へ進む

問 21-1 (問 21 で「2.」または「3.」を選んだ方に) あて名のお子さんが参加したことがある、もしくは今後参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スポーツ活動
2. 文化・音楽活動
3. キャンプ等の野外活動
4. 高齢者訪問等の社会福祉活動
5. ホームステイ等の交際交流活動
6. 子ども会等の青少年団体活動
7. リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動
8. その他(具体的に： )

<子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。>

問 22 下記のサービスの認知状況と利用状況および今後の利用意向をお答えください。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、いずれかに○をつけてください。

サービスの種類	A 認知状況		B 利用状況		C 利用意向	
	知っている	知らない	利用したことがある	利用したことがない	今後利用したい	今後利用したくない
①母親学級、両親学級、育児学級 ⇒	1	2	1	2	1	2
②保健センターの情報・相談サービス ⇒	1	2	1	2	1	2
③家庭教育に関する学級・講座 ⇒	1	2	1	2	1	2
④教育相談センター・教育相談室 ⇒	1	2	1	2	1	2
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放 ⇒	1	2	1	2	1	2
⑥子育て支援センター ⇒	1	2	1	2	1	2
⑦家庭児童相談室 ⇒	1	2	1	2	1	2
⑧市発行の子育て情報誌 ⇒	1	2	1	2	1	2
⑨児童館 ⇒	1	2	1	2	1	2
⑩つどいの広場 ⇒	1	2	1	2	1	2
⑪その他 ( ) ⇒	1	2	1	2	1	2

※子育て支援センター…子育て中の親子同士が交流したり、育児相談ができる場。

※児童館…子どもに健全な遊びを提供して、その心身の健康を増進し情操を豊かにすることを目的とする施設。専門の職員が配置されている。

※つどいの広場…身近な地域で親子が交流できる広場等。

<子育てに関する悩みなどについておうかがいします。>

問 23 子育ては楽しいですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- |            |              |              |
|------------|--------------|--------------|
| 1. とても楽しい  | 3. どちらともいえない | 4. あまり楽しくない  |
| 2. まあまあ楽しい |              | 5. まったく楽しくない |

問 24 子育てに対して不安感や負担感を感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- |           |              |             |
|-----------|--------------|-------------|
| 1. とても感じる | 3. どちらともいえない | 4. あまり感じない  |
| 2. やや感じる  |              | 5. まったく感じない |

問 25 子育てをする上で、どのような悩みがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの勉強や成績のことが心配である
2. 子どもの学校でのいじめが心配である
3. 子どもの友人関係が心配である
4. 子育ては親の責任といわれ、不安と負担を感じる
5. 子育てと仕事の両立が大変である
6. 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考え方が違う
7. 配偶者の子育てへの関わりが少ない
8. 子どもとのふれあいやしつけが十分できない
9. 子どもの気持ちがかめず、接し方がわからない
10. 子どもの健康や性格、癖などが心配である
11. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
12. 特にない

問 26 【現在就労されている回答者におうかがいします。】

仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることは何ですか。あてはまる番号に2つまで○をつけてください。

1. 仕事で疲れて子育ての余力がない
2. 労働時間が長い・不規則
3. 自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に、かわりに面倒をみる人がいない
4. 家族の理解が得られない
5. 職場の理解が得られない
6. 子どもの他に面倒をみなければならない人がいる
7. 学童保育所などの子どもの預け先が見つからない
8. 子どもと接する時間が少ない
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
10. 特にない



**<子育てサークル等への参加状況についておうかがいします。>**

問 30 あなたは、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 現在、参加している
2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
3. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない

問 30-1 へ進む

問 30-1 (問 30 で「1.」または「2.」と答えた方に) 自主活動をしていくにあたって、行政に行ってほしい支援はどのようなものですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                  |                    |
|----------------------------------|--------------------|
| 1. 活動場所の提供(場所貸しなど)               | 4. 活動資金助成          |
| 2. 情報発信やPRなどに関する支援<br>(掲示板の開放など) | 5. その他<br>(具体的に: ) |
| 3. 活動時間中の保育サービス(託児など)            | 6. 特にない            |

**<子育て支援全般についておうかがいします。>**

問 31 子育て支援として、身近な地域の人に望むことがありますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 子育てに関する悩みを聞いたり、相談相手になってほしい
2. 緊急時などに子どもを一時的に預かってほしい
3. 危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい
4. 子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい
5. 子どもが参加できる地域行事や催しなどに参加してほしい
6. 子どもに遊びやスポーツなどを教えてほしい
7. その他(具体的に: )
8. 特にない

問 32 子育てと仕事の両立支援のために、企業等はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する(フレックスタイム制度や短時間勤務制度など)
2. 育児休業制度や再雇用制度の整備や、制度を利用しやすい環境をつくる
3. 子どもが病気やけがの時などに休暇を取れる環境をつくる
4. 事業所内に保育施設を設置する
5. 男性も育児休業制度が利用できるなど、子育てに男性が参加できる環境をつくる
6. 子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う
7. その他(具体的に: )
8. 特にない

